

2018

美容科 シラバス



学校法人京都中央学院

YIC京都ビューティ専門学校

シラバスとは

シラバスとは講義概要であり授業全体の計画書のことです。授業の目標・内容・参考図書・成績評価の方法などが記され、皆さんが授業内や授業外で学修を行うための指針を示すものです。

教員は、この指針に従って授業を行うこととなります。したがってシラバスは授業計画を学生と教員との間で共有する、「契約書」に近い位置づけのものです。シラバスに記載された目標を達成するために、教員は授業を通して学生である皆さんに知識と技術を習得させる義務を負います。逆に皆さんは授業に出席する義務を負うこととなります。

また広い意味では、本校が地域社会に対して本校の教育の質を担保するものでもあります。

実際に授業が行われるにあたって、学生や教員があらかじめ準備したり、従うべき事項等を共有する文書となります。授業で行われる内容があらかじめ記載されていますので、学生は授業に臨む際に前もって準備を行うことができますし、記載されている評価方法に向けての学修などを行うこともできます。

シラバスを作成する過程で、教員が自らの行う授業の内容、評価方法などの具体的構造を見直すことができ、自分の授業を見直す良い機会になります。

皆さんは、このシラバスを活用して、悔いのない学生生活を送っていただくようお願いします。

2018年度美容科教育課程		履修科目名	単位	内 容	目 標	1年	2年	
必修課目 I	ビューティ基礎	講義	保 健 I	1	人体の構造及び機能 I		1	
			保 健 II	1	人体の構造及び機能 II		1	
			文 化 論 I	1	モード論		1	
			衛 生 管 理 I	1	公衆衛生		1	
			美 容 技 術 理 論 I	1	ヘアカットting・シャンプー		1	
			美 容 技 術 理 論 II	1	ヘアセッティング・ヘアアレンジ		1	
			香 粧 品 化 学 I	1	化粧品概論		1	
			関 係 法 規 ・ 制 度	1	美容師に必須の法令的知識		1	
			運 営 管 理	1	ビジネスと仕事の実践		1	
			美 容 実 習 (カ ッ ト 基 礎)	1	カットting技術基礎		1	
	トータルビューティ分野	実習	美 容 実 習 (パ ー マ 基 礎)	1	パーマ技術基礎		1	
			美 容 実 習 (カ ラ ー 基 礎)	1	カラー技術基礎		1	
			美 容 実 習 (シ ャ ン プ ー ・ ヘ ッ ド ス パ)	1	シャンプー、ヘッドスパ技術	資生堂ヘッドスパディプロマ取得	1	
			美 容 実 習 (ワ イ ン デ ィ ン グ I)	4	国家試験課題ワインディング	国家試験合格(実技)	4	
			美 容 実 習 (ウ ェ ー ブ I)	4	国家試験課題オールウェーブ	国家試験合格(実技)	4	
			美 容 実 習 (メ イ ク)	2	スキンケアからベースメイクの基本テクニック	JMA日本メイクアップ技能検定 3級	2	
			美 容 実 習 (ネ イ ル)	2	ネイルケア・ネイルアートの基本技術・知識	JNECネイリスト技能検定3級	2	
美 容 実 習 (ヘ ア ア レ ン ジ)	1	ヘアアレンジ基礎		1				
美 容 実 習 (着 付 け)	1	着付けの理論と技術		1				
必須科目 I 計						27	0	
必修課目 II	美容専門	講義	美 容 保 健 III	1	皮膚科学		1	
			香 粧 品 化 学 II	1	化粧品用原料		1	
			美 容 文 化 論 II	1	デッサン・ヘアデザイン画		1	
			衛 生 管 理 II	1	環境衛生		1	
			衛 生 管 理 III	1	感染症・衛生管理技術		1	
			美 容 技 術 理 論 III	1	カラー・パーマ		1	
			美 容 技 術 理 論 IV	1	エステ・ネイル・メイク		1	
			美 容 技 術 理 論 V	1	日本髪・着付けの理論と技術		1	
			実習	美 容 技 術 特 論 I	4	国家試験課題ワインディング・オールウェーブ	国家試験合格(実技)	4
				美 容 技 術 特 論 II	8	国家試験課題カット・ワインディング・オールウェーブ	国家試験合格(実技)	8
	美 容 実 習 (ウ ェ ー ブ II)	2		国家試験課題オールウェーブ	国家試験合格(実技)	2		
	実習	美 容 実 習 (ワ イ ン デ ィ ン グ II)	1	国家試験課題ワインディング	国家試験合格(実技)	1		
		美 容 実 習 (カ ッ ト 応 用)	1	カットting技術応用		1		
美 容 実 習 (パ ー マ 応 用)		1	パーマ技術応用		1			
美 容 実 習 (カ ラ ー 応 用)		1	カラー技術応用		1			
必須科目 II 計						26		
必須科目 合計						53		
						27	26	
選択課目	国試対策	講義	美 容 総 合 技 術	2	国家試験筆記対策	国家試験合格(筆記)	2	
			就 職 ガ イ ダ ン ス	1	企業研究		1	
	キャリア基礎力	講義	キ ャ リ ア デ ザ イ ン	1	キャリアガイダンス・マナー実践		1	
			基 本 I T 技 術	1	ワード・エクセルの基礎および文書作成		1	
			プ レ ゼ ン テ ー シ ョ ン	1	パワーポイントの基本操作とプレゼンテーション		1	
			ビ ジ ネ ス 文 章 力	1	ビジネス文書に関わる知識・技術		1	
			ビ ジ ネ ス 英 語	1	ビジネスで役立つ英会話		1	
			イ ベ ン ト プ ロ デ ュ ー ス	1	ヘアショー・学校行事		1	
			ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	2	ボランティア活動を通して仕事の意義を考える		1	
			ヘ ア ケ ア マ イ ス タ ー	1	毛髪科学・カウンセリング・ヘアケア剤	ヘアケアマイスター(プライマリー)資格	1	
			専 攻 授 業 (ヘ ア デ ザ イ ン 専 攻)	4	ヘアデザイン専攻	選択コースでの資格取得	2	
			専 攻 授 業 (メ イ ク ・ プ ラ イ ダ ル 専 攻)	4	メイクブライダル専攻	選択コースでの資格取得	2	
			カ ラ ー コ ー デ ィ ネ ー ト I	1	色彩学	パーソナルカラー検定3級	1	
			カ ラ ー コ ー デ ィ ネ ー ト II	1	色彩学	パーソナルカラー検定2級	1	
			ビ ュ ー テ ィ コ ー デ ィ ネ ー ト I	1	ビューティコーディネーターの役割を理解する	ビューティコーディネーター3級	1	
			ビ ュ ー テ ィ コ ー デ ィ ネ ー ト II	1	サービスに関する専門技術・知識	ビューティコーディネーター2級	1	
			イ ン タ ー ン シ ョ ン I	1	サロン業務を知り現場を体験する		1	
			イ ン タ ー ン シ ョ ン II	1	就職活動に必要な知識・コミュニケーション力	希望企業への就職	1	
			美 容 実 習 (コ ン テ ス ト I)	1	コンテスト取り組み	コンテスト入賞	1	
美 容 実 習 (コ ン テ ス ト II)	1	コンテスト取り組み	コンテスト入賞	1				
美 容 実 習 (サ ロ ン ワ ー ク I)	2	サロンワークの実践		2				
美 容 実 習 (サ ロ ン ワ ー ク II)	2	サロンワークの実践		2				
選択科目 計						32		
総計(必須+選択)						85		
						18	14	
						45	40	

※単位:90分×15週の座学(授業)または実習をもって1単位とする。ただし、校外学習などこれによりがたい場合は別途換算する。

※年度により開講しない場合がある

※卒業の要件:必修科目48単位(1,440時間)および選択必須科目及び選択科目合わせて20単位(600時間)以上 計68単位(2,040時間)以上の履修

※科目履修(単位)認定の要件:80%以上の出席 および 期末試験 60点以上

科目名	美容保健 I 人体の構造および機能		担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	ビューティ基礎	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日	木
	(美容師)			時限		1		
授業の概要	二年、計60回(120時間)のうち前半(人体の構造および機能)である。国家試験は最重要であるが、美容師になるための必要知識、技能、態度の取得、論理的思考、合理的な処理能力社会に対する適応力など職業人教育の観点から授業を進める。また、理解しやすいよう、適宜視聴覚教材を利用する。							
学習目的	皮膚・毛髪などを主とする、人体の構造、機能に関する科学的系統的知識を美容技術と関連づけて学ばせる。							
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルの知識習得 2. 頭、顔を中心とする人間の美に関わる美容師に必要な解剖学、生理学の基本知識の習得 3. とくに、皮膚や毛髪に関する深い知識 4. 人間性の醸成							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	「理容・美容保健」と 理容師・美容師		人体各部の名称/頭部、顔部、頸部の体表解剖学(1)					
第2回			頭部、顔部、頸部の体表解剖学(2)					
第3回	細胞と体液		細胞から系統まで/皮膚系					
第4回			体液のあらまし/血液のあらまし					
第5回	総合学習		「理容・美容保健」と理容師・美容師、細胞と体液					
第6回	骨格器系		骨の種類と構造/骨の連結					
第7回			骨格器系とそのはたらき/骨の保健					
第8回	筋系		筋の種類と特徴/主な骨格筋とそのはたらき(1)					
第9回			主な骨格筋とそのはたらき(2)/筋系の保健					
第10回	総合学習		骨格器系、筋系					
第11回	神経系		神経系の成り立ち/中枢神経とその働き					
第12回			末梢神経とその働き/神経系の保健					
第13回	感覚器系		視覚、聴覚、平衡感覚					
第14回			味覚、嗅覚、皮膚感覚、深部感覚と内臓感覚/神経系、感覚器系					
第15回	総合学習		神経系、感覚器系					
教科書	理容・美容保健		日本理容美容教育センター					
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30%(15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容保健Ⅱ 人体の構造および機能		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	ビューティ基礎 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	金 2
授業の概要	二年、計60回(120時間)のうち前半(人体の構造および機能)である。国家試験は最重要であるが、美容師になるための必要知識、技能、態度の取得、論理的思考、合理的な処理能力社会に対する適応力など職業人教育の観点から授業を進める。また、理解しやすいよう、適宜視聴覚教材を利用する。							
学習目的	皮膚・毛髪などを主とする、人体の構造、機能に関する科学的系統的知識を美容技術と関連づけて学ばせる。							
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルの知識習得 2. 頭、顔を中心とする人間の美に関わる保健衛生分野の職業である美容師に必要な人体の構造(解剖学)と機能(生理学)の基本的な知識の習得 3. 人間性の醸成							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	循環器系		血液循環の仕組み、循環経路/心臓と血管の働き					
第2回			リンパ管系、循環器系の保健					
第3回	呼吸器系		呼吸器系のあらまし、気道/肺の仕組み					
第4回			呼吸運動/呼吸器系の保健					
第5回	総合学習		循環器系、呼吸器系					
第6回	消化器系		消化器系のあらまし、消化管の仕組み					
第7回			消化管・消化腺のはたらき					
第8回			消化器系の保健					
第9回	泌尿器系		泌尿器系の仕組み/泌尿器系の働き、泌尿器系の保健					
第10回	総合学習		消化器系、泌尿器系					
第11回	内分泌系		人体とホルモン、下垂体					
第12回			甲状腺と上肢小体、膵臓/副腎、精巣と卵巣					
第13回			内分泌器系の調節機構、ストレス/内分泌系の保健					
第14回	環境と生体		生理的適応/免疫的適応					
第15回	総合学習		内分泌系、環境と生体					
教科書	理容・美容保健 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30%(15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容文化論 I (モード論)		担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	美容専門	必修	単位	1単位	学年	1年	曜日	火
	(美容師)		(時間)	30	時限	1		
授業の概要	美容の歴史を学び、現代でどのように活かされているのかを知る							
学習目的	美容文化を学ぶことで「ファッション」について深く考えて「コーディネート」できる人材になる							
学習目標	美容文化の移り変わりを把握したファッションコーディネートができ、現場でお客様にアドバイスができる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	美容文化とモードの必要性		美容の歴史を理解しモードの基礎を知る					
第2回	ファッション文化① (日本)		縄文・弥生・古墳時代～近世までをたどる					
第3回	ファッション文化② (日本)		近代～現代をたどる					
第4回	ファッション文化③ (西洋)		古代エジプト～近世までをたどる					
第5回	ファッション文化④ (西洋)		近代～現代までをたどる					
第6回	礼装①		和の礼装 (フォーマル) について					
第7回	礼装②		洋の礼装 (フォーマル) について					
第8回	ファッションの造形原理		ファッションとヘアメイクとトータルバランスについて					
第9回	色彩のコーディネート		色彩とヘアスタイルの関係性について					
第10回	モード論		概念を理解しファッションを定義づける					
第11回	人のイメージ		ファッションの分類スキルを養う					
第12回	ビジネスとモード		ブランド化や商品代計画について学びスタイルの分析をする					
第13回	トレンド		トレンドと発想の相互作用について					
第14回	デッサンカ		ヘアスタイル・メイクとデッサンの必要性の似合わせ理論まで					
第15回	ヘアスタイルの描き方		デッサン～展開図～ヘアスタイルを描く			(持ち物) HB・B・Hの鉛筆と消しゴム・スケッチブック		
教科書	美容文化論 日本理容美容センター							
参考書	モード論							
成績評価	単位認定60点以上 期末試験: 60点以上							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	衛生管理 I		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	ビューティ基礎 (美容師)	必修	単位 (時間)	1 単位 30	学年	1 年	曜日 時限	木 2
授業の概要	公衆衛生の意義、予防衛生、保健衛生、環境衛生、特に美容業務上で必要不可欠な衛生知識などについてテキストに沿って教授すると共に、その時点における社会の動きなどについても教授する。							
学習目的	美容師は、人の健康に関わる職業であることから衛生管理のプロとして求められる知識・技術を身につける。また顧客との良好な人間関係を築く上で必要な公衆衛生関係の社会常識、特に最新の情勢についての知識を習得する。							
学習目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得。美容師の社会責任、職業倫理への理解。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	公衆衛生の概要	公衆衛生の意義を学び、我が国の公衆衛生を知る。						
第2回	公衆衛生の具体的な課題と領域	公衆衛生を知り、出生率、死亡率、乳児死亡率、平均寿命。						
第3回	美容師と公衆衛生	歴史にみる理容美容と公衆衛生。保健所の役割を知る。						
第4回	予防医学と保健	予防医学の目的と意義を知る。母子保健と統計について学ぶ。						
第5回	成人、高齢者保険	生活習慣病とその対策を知り、健康日本21の概要を理解させる。						
第6回	栄養と食物	栄養素とそれはたらきを知る。現代の食生活の問題点を考える。						
第7回	医療介護の制度	日本の医療、保険制度について理解する。						
第8回	環境衛生を学習する目的	環境の自然や人々の健康に及ぼす影響を知る。						
第9回	環境衛生	家庭、学校、事業所、営業施設、公共団体による公衆衛生。						
第10回	空気、水、日光	空気、温度、湿度、気流、水と健康。						
第11回	日光と健康	日光の種類を知り衣食住の役割を理解する。食中毒について考える。						
第12回	住居の衛生	採光、照明、換気の役割を知る。上下水道と廃棄物を理解する。						
第13回	衛生害虫とネズミ	衛生害虫の被害や駆除の方法を知る。公害についての理解を深める。						
第14回	美容所の環境衛生	不特定多数が出入りする環境を知り、管理能力を高める。						
第15回	実習室の衛生状態を確認	温度、湿度、換気、照明、器具類の管理。						
教科書	衛生管理技術 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30% (15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術理論 I		担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	金 1
授業の概要	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく							
学習目的	科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師をめざす。							
学習目標	現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	序章 美容技術理論を学ぶにあたって	美容理論と美容技術について 美容技術における作業姿勢 美容技術に必要な人体各部の名称						
第2回	1章 美容用具	美容技術と用具 コーム・ブラシ・シザース・レザーの種類 扱い方						
第3回	1章 美容用具	ヘアアイロン・ヘアドライヤー・ヘアスチーマー・遠赤外線・その他の美容用具						
第9回		シャンプーイング						
第10回	2章 シャンプーイング	リンス、コンディショナー、トリートメント						
第11回		スカルプトリートメント						
第4回	3章 ヘアカットイング	ヘアカットイングとは シザースとレザーの扱い方 ヘアカットイングの正しい姿勢						
第5回		ブロッキング ヘアカットイングの基礎理論						
第6回		パーマメントウェーブの歴史と現在						
第7回	4章 パーマメントウェーブ	ブロッキング パーマメントウェーブの理論						
第8回		パーマメントアラカルト						
第12回	4章 パーマメントウェーブ	パーマメントウェーブについてまとめ						
第13回	理論	パーマを実際に行うにあたっての注意事項						
第14回	各章まとめ	序章・美容道具・シャンプーイング						
第15回		ヘアカットイング・パーマメントウェーブ						
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+小テスト30% (15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術理論Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	火 1
授業の概要	美容師としての心構え、美容技術の基礎理論を学ぶ事によって、美容技術の理解を高め、美容実習につなげていく							
学習目的	科学的根拠と系統だった理論を理解することにより、より良い技術と心を、お客様に提供できる美容師をめざす。							
学習目標	現在の美容技術は薬剤の発展と共に複雑化し、正確に行わないと危険を伴うこともある。ここでは美容技術の基礎となる理論を学び、理論に基づいた正確な技術の修得をめざす。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	5章 ヘアセッティング	ヘアセッティングとは ヘアパーティング						
第2回		ヘアウェービング						
第3回		フィンガーウェーブの基礎技術 ①						
第4回		フィンガーウェーブの基礎技術 ②						
第5回		クロッキノールカール技術						
第6回		オールウェーブ構成						
第7回		スカルプチュアカール技術						
第8回		リフトカール技術						
第9回		メイポールカール技術						
第10回	6章 ヘアカラーリング	ヘアカラーリング概要						
第11回		ヘアカラーの種類 ヘアカラーのタイプ別特徴						
第12回		染毛のメカニズム 色の基本						
第13回		ヘアカラーリングの注意事項 パッチテスト（皮膚と貼布試験）						
第14回	各章まとめ	ヘアセッティングについて小テスト						
第15回		ヘアカラーリングについて小テスト						
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+小テスト30% (15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	化粧品化学 I		担当者	学科	美容科	開講期	30年後期		
区分	ビューティ基礎 (美容師)	必修	単位	1単位	学年	1年	曜日	金	
			(時間)	30			時限	1	
授業の概要	実学としての化粧品化学を理解できるように授業を進める。また、「関係法規・制度」、「衛生管理」、「理容・美容保健」など、他教科との関連性についても適宜述べる。								
学習目的	美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の理解と応用能力」を身に付けさせる。								
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルの知識習得 2. 人の生体の成分に化学変化を与える化粧品の基本知識の習得し、その危険性について認識する。 3. 化粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く。 4. 人間性の醸成								
授 業 計 画									
回	主 題		授 業 内 容			備 考			
第1回	1 物質の構造		物質の構成成分（混合物・純物質・単体・化合物）について復習する						
第2回			原子の構造・電子配置・イオンについて復習する						
第3回			イオン結合と組成式・イオンからなる物質を学ぶ						
第4回			共有結合と分子構造・分子からなる物質・水素結合・無極性物質・極性物質について学ぶ					※金属結合は参考	
第5回			原子量・分子量についての確認・物理変化と化学変化の違い・化学反応式・化学反応の速さについて学ぶ						
第6回	2 溶液とコロイド		溶液と溶解の仕組み・溶解度と濃度について学ぶ。						
第7回			コロイドの定義と種類・ミセルとエマルジョンについて学ぶ						
第8回	3 酸と塩基と塩		酸と塩基の性質・水素イオン指数について学ぶ						
第9回			中和反応と塩・緩衝作用と緩衝液について学ぶ						
第10回	4 酸化還元反応		酸化と還元の定義と酸化還元反応と化粧品について学ぶ						
第11回	5 有機化合物)		(低分子化合物)		鎖式炭化水素・環式炭化水素・官能基（ヒドロキシル基・カルボニル基・アルデヒド基・カルボキシル基）について学ぶ				
第12回					アミノ基・官能基どうしが結合した炭化水素（エステル・油脂）・エステル化・けん化について学ぶ				
第13回			(高分子化合物)		天然高分子化合物（多糖類・デンプン・セルロース）について学ぶ				
第14回					天然高分子化合物（たんぱく質）・合成高分子化合物について学ぶ				
第15回	化学分野のまとめ		国試筆記化学分野の出題傾向と対策問題練習						
教科書	化粧品化学 日本理容美容センター								
参考書									
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30%（15回）								
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない								
オフィス・アワー									

平成30年度 シラバス

科目名	関係法規・制度		担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	美容専門	必修	単位	1単位	学年	1年	曜日	木
	(美容師)	(時間)	30	時限			2	
授業の概要	美容師法などの美容師の業務に関する衛生法規や制度、消費者の保護法規や制度、また、公衆衛生を担う美容師の社会責務、職業倫理について勉強する。							
学習目的	美容と関係の深い行政の活動や組織、美容業に関連する法規・制度への理解を深める。衛生行政とはどのような行政か、その行政機関の役割について理解し、美容師法の内容や消費者保護関連法規等について学ぶ。							
学習目標	1. 美容師国家試験（関係法規・制度）合格レベルの知識習得 2. 美容師の社会責任・職業倫理への理解 3. 美容師制度に関する法的規制、制度の理解 4. 人間性の醸成							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	法制度の概要		社会生活における法の役割を理解し、法の種類、特にわが国における法の体系を学ぶ。					
第2回	衛生法規の概要と法と行政の関係		衛生行政の目的を完遂するための法規および、国と地方が行なう行政の関係を学ぶ。					
第3回	衛生行政の意義と歴史		社会公共の立場から公衆の健康の保持と増進を公衆衛生の向上を図るために、衛生法規に基づいておこなう行政の歴史を振り返り、その意義を理解する。					
第4回	衛生行政の種類と衛生行政機関		衛生行政の種類としくみ、それらを所管する機構と役割について述べる。					
第5回	美容師法の目的と歴史		美容業を衛生面から規制し、公衆衛生の維持と増進を図る美容師法の目的を述べ、その歴史を振り返る。					
第6回	美容師法の体系用語の定義		美容師法の内容について概観。その構成、運用に当たる行政機関、および美容師法の内容を理解するための用語について学習する。特に、美容、美容師、美容所の違いについて。					
第7回	美容師（1）		美容師の資格制度を理解する。美容師の養成、試験、免許の仕組み、等について説明する。					
第8回	美容師（2）		美容師の免許と登録について説明する。					
第9回	美容師（3）		美容師が業務活動を行なうときに守らねばならない義務について説明する。					
第10回	美容所（1）		美容所開設の届出、施設の検査確認、美容所が講ずべき措置等の規制について説明する。					
第11回	美容所（2）		美容所以外での業務について説明する。					
第12回	違反者に対する行政処分および罰則		美容師法の規定に違反する状態が生じたときに行なわれる、美容師および美容所に対する処分および罰則について説明する。					
第13回	美容師会および美容師法の復習		美容師会および美容師法の復習					
第14回	関連法規（1）		将来、美容師になりまた美容所を経営する場合に知っておくことが望ましい法律について説明する。					
第15回	関連法規（2）および美容師試験		同上（つづき） および美容師試験対策。					
教科書	関連法規・制度 日本理容美容教育センター							
参考書	日本国憲法、生活衛生関係営業法令通知集							
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30%（15回）							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	運営管理（ビジネスと仕事の実践）		担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	ビューティ基礎 （美容科）	必修	単位 （時間）	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	水 1
授業の概要	美容をビジネスの観点から見ていく。サロン経営、店舗運営に直結する内容を講義するとともに、最新の美容業界の動きもつねにチェックする。							
学習目的	美容業界は今後ますます競争が激化していく状況の中で、今後サロンが生き残っていくためには、経営・マネジメントの知識がどうしても必要となる。将来サロンを持つときに、あるいは店長となって店舗を管理する立場になったときに必要となる経営・マネジメントの基礎を学ぶ。しかし、この経営・マネジメントの知識は決して経営者や店長となつてはじめて必要となるものではなく、実はサロンに就職したときからすでに必要となってくるものである。競争が厳しい美容業界においては、経営・マネジメントの視点を持つこともこれからの美容師のあるべき姿で、今のうちからしっかりとビジネス感覚を身につけた人材を育成する。							
学習目標	美容業界をビジネスの観点から分析できる力を身につけます。そして皆さんが就職したときに、そして将来サロンを持つときに、店長になったときに役立つ知識とビジネス感覚を養う。							
授業計画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	オリエンテーション		授業の進め方と心構えについて					
第2回	美容業の現状について		現在の美容業はどのような状況なのか					
第3回	経営とは何か？		経営・マネジメントの視点がなぜ必要か					
第4回	労務管理 1		美容業と労務管理					
第5回	労務管理 2		美容業と人事管理 美容業と社会保障制度 労務管理に関する知識					
第6回	経営管理 1		企業の形態 美容業と料金					
第7回	経営管理 2		美容業と経理 美容業の簿記と税務					
第8回	マーケティング 1		なぜマーケティングを学ぶのか マーケティングの基本的な考え方					
第9回	マーケティング 2		マーケティング戦略 競争とポジショニング					
第10回	マーケティング 3		美容業のためのマーケティング 戦略の立て方					
第11回	顧客満足経営		顧客満足経営とはどのような経営なのか 売上志向から顧客志向へ					
第12回	サロン起業 1		サロンの起業とはどのようなものか サロンの起業には何が必要か					
第13回	サロン起業 2		繁盛店を考えてみよう 1					
第14回	サロン起業 3		繁盛店を考えてみよう 2					
第15回	サロン起業 4		今後の美容業はどうなっていくのか					
教科書	『運営管理』 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定 60点以上 レポート提出30% 期末試験60%							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	(美容実習) カット基礎	担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	ビューティ基礎	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	火 2
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る						
学習目的	美容師に必要なベーシックカット技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける						
学習目標	wigを⑤台使用し、ベーシックカット～デザインカットの触りまでを理解する→最終日には作品提出を行い、ベーシックデザインを理解する。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ヘアカッティング基礎知識を知る	シザーズの持ち方開閉とカットの正しい姿勢・展開図				ウィッグ①・テキスト	
第2回	wig①ワンレングスロングカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト	
第3回	wig①ワンレングスロングカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザーワーク	
第4回	wig①グラデーションボブカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト	
第5回	wig①グラデーションボブカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザーワーク	
第6回	wig②ロングレイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②ロングレイヤーカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザーワーク	
第8回	wig②ショートレイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト	
第9回	wig②ショートレイヤーカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザーワーク	
第10回	wig③前下がりボブカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト	
第11回	wig③前下がりボブカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザーワーク	
第12回	wig③マッシュルームボブカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト	
第13回	wig③マッシュルームボブカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザーワーク	
第14回	wig④ツーセクションカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ④・テキスト	
第15回	wig⑤作品作成	履修内容を活かし自由に作品作成し提出(サロン審査員)				ウィッグ⑤・テキスト	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター						
参考書							
成績評価	単位認定 作品1つを提出。1. 授業内容が理解できているか 2. 作品のオリジナリティー 3. 出席率 にて評価。						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	(美容実習) パーマ基礎		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	ビューティ基礎	実習	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	木 3
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
学習目的	美容師に必要なベーシックパーマ技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける							
学習目標	ベーシックパーマを理解する→カットスタイルに合わせたパーマ技術を施術できる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	パーマ技術の基礎知識を知る		ケミカルの基本・薬剤選定のヒント					
第2回	wig①前期で使用グラデーションボブ		パーマバリエーション～縦巻き・横巻き・斜め巻き			ウィッグ①・テキスト		
第3回	wig①前期で使用グラデーションボブ		毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き			ウィッグ①・テキスト		
第4回	wig②前期で使用ショートレイヤーカット		パーマバリエーション～縦巻き・横巻き・斜め巻き			ウィッグ②・テキスト		
第5回	wig②前期で使用ショートレイヤーカット		毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き			ウィッグ②・テキスト		
第6回	wig③前期でマッシュルームボブカット		パーマバリエーション～縦巻き・横巻き・斜め巻き			ウィッグ③・テキスト		
第7回	wig③前期でマッシュルームボブカット		毛先巻き・中間巻き・逆巻き・スパイラル巻き			ウィッグ③・テキスト		
第8回	wig④前期ツーセクションカット		効果的な技法選定・施術			ウィッグ④・テキスト		
第9回	wig④前期ツーセクションカット		効果的な技法選定・施術			ウィッグ④・テキスト		
第10回	wig⑤前期作品作成したデザインウィッグ		効果的な技法選定・施術			ウィッグ⑤・テキスト		
第11回	wig⑤前期作品作成したデザインウィッグ		効果的な技法選定・施術			ウィッグ⑤・テキスト		
第12回	wig⑥作品作成 I		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ⑥・テキスト		
第13回	wig⑥作品作成 I		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ⑥・テキスト		
第14回	wig⑦作品作成 II		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ⑦・テキスト		
第15回	wig⑦作品作成 II		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ⑦・テキスト		
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定 I・IIの作品作成し提出する。 1. 授業内容が理解できているか 2. 作品のオリジナリティー 3. 出席率							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	(美容実習) カラー基礎		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	ビューティ基礎	実習	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	木 4
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
学習目的	美容師に必要なベーシックカラー技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける							
学習目標	ベーシックカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	カラー技術の基礎知識を知る		カラー塗布のバリエーション 薬剤選定・ブロッキング					
第2回	wig①前期で使用グラデーションボブ		グレイカラー 塗布手順・注意事項			ウイッグ①・テキスト		
第3回	wig①前期で使用グラデーションボブ		グレイカラーの塗布ができる			グレイカラー		
第4回	wig②前期で使用ショートレイヤーカット		ファッションカラー ワンメイク・塗布手順・注意事項			ウイッグ②・テキスト		
第5回	wig②前期で使用ショートレイヤーカット		ファッションカラー ワンメイクの塗布ができる			ワンメイク		
第6回	wig③前期でマッシュルームボブカット		リタッチカラー 塗布手順・注意事項			ウイッグ③・テキスト		
第7回	wig③前期でマッシュルームボブカット		リタッチの塗布ができる			リタッチ		
第8回	wig④前期ツーセクションカット		効果的な技法選定・施術			ウイッグ④・テキスト		
第9回	wig④前期ツーセクションカット		効果的な技法選定・施術			技法選定・施術		
第10回	wig⑤前期作品作成したデザインウイッグ		効果的な技法選定・施術			ウイッグ⑤・テキスト		
第11回	wig⑤前期作品作成したデザインウイッグ		効果的な技法選定・施術			技法選定・施術		
第12回	wig⑥作品作成 I		カットスタイルに合わせた 効果的なカラー技術を施す			ウイッグ⑥・テキスト		
第13回	wig⑥作品作成 I		カットスタイルに合わせた 効果的なカラー技術を施す			技法選定・施術		
第14回	wig⑦作品作成 II		カットスタイルに合わせた 効果的なカラー技術を施す			ウイッグ⑦・テキスト		
第15回	wig⑦作品作成 II		カットスタイルに合わせた 効果的なカラー技術を施す			技法選定・施術		
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	①～⑤のウイッグは美容実習カットで使用したものを使う ⑥・⑦のウイッグは新品を使用する							
成績評価	単位認定2作品を提出。1. 授業内容が理解できているか 2. 作品のオリジナリティー 3. 出席率 にて評価。							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	シャンプー・ヘッドスパ		担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	ビューティ基礎	実習	単位 (時間)	1 30	学年	1	曜日 時限	金 2
授業の概要	現場に必要な頭皮理論、ヘッド・スパ技法の習得、及びコンサルテーション能力向上を目指す							
学習目的	就職後の即戦力として必要とされる知識、技術、コミュニケーションスキル（提案力）の向上を目指す							
学習目標	頭皮理論とスパシャンプー、クレンジング、リフトアップメソッドの習得。不調の原因、解消法など応対話法の習得							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回 第2回	シャンプーを知る		シャンプー準備・シャワーの使い方・マッサージ理論					
第3回 第4回	シャンプーを知る		シャンプー工程を覚える・効果的なマッサージトレーニング					
第5回 第6回	頭皮ケア理論・グロースメソッド・テクニック①		デトックス（スキャルプ）マッサージトレーニングを行う					
第7回 第8回	テクニック②		リフトアップ（頭皮とリンパ）マッサージトレーニングを行う					
第9回 第10回	テクニックまとめ		前回迄の技術を一連の流れで行う					
第11回 第12回	理論・マッサージ技術検定		筆記、技術に関するチェックテストを受験する			資生堂ディプロマ取得		
第13回 第14回	コンサルテーション理論		話法、傾聴スキルアップ、マイクロスコープ頭診断を行う					
第15回	コンサルテーション実習		コンサルテーションについて、実際に実習する					
教科書								
参考書	資生堂ヘッドスパテキスト配布							
成績評価	単位認定：マッサージ技術検定60点以上							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（ワインディング I）	担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	美容専門 （美容師）	単位 （時間）	4単位 120	学年	1年	曜日 時限	火/水 3・4
授業の概要	ワインディング						
学習目的	1. ワインディングは単にウェーブを求めるにとどまらずスタイル形成保持する施術である 2. 正確な技術と薬剤の知識を学ぶ						
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間性の醸成						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	器具・用具について	器具・用具の名称理解・準備の方法を習得・コーミング&ブロッキング					
第2回	ブロッキング・上巻	コーミング5分&ブロッキングできる（5分）・上巻き技術					
第3回	ブロッキング・上巻き・下巻き	ブロッキング（5分）・上巻き・下巻き技術					
第4回		ブロッキング・上巻き・下巻き（センター18分）完成					
第5回							
第6回							
第7回	フロントについて	ブロッキング・上巻き・下巻き（センター18分）フロントのスライス					
第8回	センターからフロント	センター～フロントを巻く					
第9回		センター～フロントを巻く（フロント3本のバランスに注意する）					
第10回	角度スライスの確認	ブロッキング（5分）・全頭を巻く					
第11回		ブロッキング（5分）・全頭を巻く（巻残りに気をつける）					
第12回	バックサイドのスライスの取り方	バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習（右）					
第13回		バックサイドのスライスの取り方の理解・巻き方練習（左）					
第14回							
第15回							
第16回	センター角度スライス	センターを角度の確認をし巻く					
第17回	ワインディング全頭	ブロッキング（9ブロック・5分）・時間内に全頭を巻く				目標・50分	
第18回		ブロッキング（9ブロック・5分）・正しいスライス・角度で時間内に全頭を巻く				目標・45分	
第19回		ブロッキング（9ブロック・5分）時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・（オンベース・1/2オフベース）				目標・39分	
第20回		ブロッキング（9ブロック・5分）時間内に全頭を巻く・正しいスライス・角度・（オンベース・1/2オフベース）・フロントのスライスを正しく				目標・35分 目標・34分	
第21回		ブロッキング（9ブロック・5分）全頭を巻く・正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない				目標・33分 目標・32分	
第22回		ブロッキング（9ブロック・5分）全頭を巻く・正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない・Cラインを気を付ける				目標・31分 目標・30分	
第23回		ブロッキング（9ブロック・5分）全頭を巻く（30分）正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない・全体のをバランス良く				目標・30分	
	①確認テスト	見極めテスト（30分）					
第24回	全頭の角度を把握・時間内の完成	ブロッキング（9ブロック・4分）全頭を巻く（30分）正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない・全体のをバランス良く					
第25回		ブロッキング（9ブロック・4分）全頭を巻く（30分）正しいスライス・角度・フロントのスライスを正しく・ラバーをねじらない・センターを中心に収める					
第26回		ブロッキング（3ブロック・3分）全頭を巻く（30分）正しいスライス・角度・ステムの角度に気を付ける					
第27回		ブロッキング（3ブロック・2分）全頭を巻く（30分）正しいスライス・角度・ステムの角度に気を付ける・センターのロッド幅を正しく					
第28回		ブロッキング（3ブロック・2分以内）全頭を巻く（30分）正しいスライス・角度・ステムの角度に気を付ける・センターのロッド幅を正しく					
第29回		衛生の意義と用具類について	衛生の用具類について理解する。 衛生と技術の解説DVD				
第30回	衛生の準備について	衛生的に準備（8分）全頭30分・					
第31回		衛生的に準備（8分）全頭・全体のバランスに気をつける				目標・29分	
教科書	美容実習 I 美容技術理論 I 日本理容美容教育センター						
参考書	衛生と技術の解説						
成績評価	単位認定 実技試験60点以上 評価ポイントは別途						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（ワインディングⅠ）	担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	美容専門 （美容師）	単位 （時間）	4単位 120	学年	1年	曜日 時限	火/水 3・4
授業の概要	ワインディング						
学習目的	1. ワインディングは単にウェーブを求めるにとどまらずスタイル形成保持する施術である 2. 正確な技術と薬剤の知識を学ぶ						
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間性の醸成						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第32回	衛生の準備について	衛生的に準備（8分）全頭・全体のバランス・ラバー掛けを丁寧にしておくれ毛を出さない				目標・2.9分	
第33回	衛生準備、全頭の完成（正確さ・綺麗さ・速さ）	衛生的に準備（8分）全頭・1本2.5秒・ブロッキング（1分）				目標・2.8分	
第34回						目標・2.8分	
第35回	衛生準備、全頭の完成（正確さ・綺麗さ・速さ）	全頭・1本2.5秒・ブロッキング（1分）・衛生に気を付ける				目標・2.7分	
第36回		衛生的に準備（8分）全頭2.5分（目標）・1本2.5秒・ブロッキング（1分）衛生区分（消毒済・使用中）に気をつける					
第37回		衛生的に準備（8分）全頭・（目標）・1本2.5秒・ブロッキング（1分）衛生区分（消毒済・使用中）に気をつける				目標・2.6分	
第38回		衛生的に準備（8分）全頭・（目標）・1本2.5秒・ブロッキング（1分）衛生区分（消毒済・使用中）に気をつける					
第39回		衛生的に準備（8分）全頭2.5分・1本2.5秒・ブロッキング（1分）衛生区分・器具の取り扱いに注意する				目標・2.5分	
第40回		衛生的に準備（8分）全頭2.5分・1本2.4秒・ブロッキング（1分）衛生区分をする					
第41回		②確認テスト	見極めテスト（25分）・復習				
第42回	衛生準備、全頭の完成（正確さ・綺麗さ・速さ）	衛生的に準備（8分）全頭（目標）・1本2.0秒・ブロッキング（1分）衛生区分をする					
第43回		衛生的に準備（8分）全頭（目標）・1本2.0秒・ブロッキング（1分）1回の動作の短縮・ペーパーの取り方				目標・2.2分	
第44回		衛生的に準備（8分）全頭（目標）・1本2.0秒・ブロッキング（1分）1回の動作の短縮・DVD鑑賞（基本見直し）				目標・2.1分	
第45回		衛生的に準備（8分）全頭2.6分（全員）・1本2.0秒・ブロッキング（1分）1回の動作の短縮・センターを特に注意				目標・2.0分	
第46回	③確認テスト	確認テスト（20分）					
第47回	全頭の時間配分と時間内完成（20分）	衛生的に準備（8分）20分タイムトライアル					
第48回		衛生的に準備（8分）センター（6.5分） ・フロント～右サイド（8分）左サイド（6.5分）					
第49回		準備（8分）センター（6.5分） ・フロント～右サイド（8分）左サイド（6.5分）					
第50回		準備（8分）センター（6分） ・フロント～右サイド（7.5分）左サイド（6.5分）					
第51回		準備（8分）センター（6分） ・フロント～右サイド（7.5分）左サイド（6.5分）通し全頭（20分）					
第52回		準備（8分）センター（6分） ・フロント～右サイド（7.5分）左サイド（6.5分）					
第53回		準備（8分）センター（6分） ・フロント～右サイド（7.5分）左サイド（6.5分）通し全頭（20分）					
第54回		準備（8分）全頭20分×3・全体のバランスと時間配分を考える（ブロッキング40秒・センターまで6分）					
第55回		準備（8分）全頭20分×3・全体のバランスと時間配分を考える（右サイドピンク3本まで10分）					
第56回		準備（8分）全頭20分×3・全体のバランスと時間配分を考える（右サイド終わりまで13分）					
第57回	全頭の時間配分と時間内完成（正確さ・綺麗さ20分）	準備（8分）全頭20分×3・構成に注意して巻く。フロントの配列					
第58回		衛生準備（8分）・全頭20分～ふき取り作業まで・個別指導					
第59回		衛生準備（8分）・全頭20分～ふき取り作業まで×3回					
第60回	国家試験合格レベルで作品を仕上げられる	全頭20分で作品を仕上げられ、衛生面に配慮できる					
教科書	美容実習Ⅰ 美容技術理論Ⅰ 日本理容美容教育センター						
参考書	衛生と技術の解説						
成績評価	単位認定 実技試験60点以上 評価ポイントは別途						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習(ヘア I)		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	4単位 120	学年	1年	曜日 時限	月・火・水
授業の概要	ヘアセッティング							
学習目的	ウェーブについて裏付けとなる理論を理解し確かな技術を習得する							
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルへの引き上げ 2. 正確な技術の習得 3. 人間性の醸成 4. セッティングやデザインの復元に富んだ長持ちするコムアウトが容易にできるようになる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	理論と基礎技術 ブロッキング		道具説明、馬蹄形にフロントをブロッキングし、ウェーブ実習使用に適した状態に整えローション塗布(両サイドブロッキングしておく)					
第2回	理論と基礎技術 ウェーブ作成		イヤトイヤをブロッキングし、後頭部でフィンガーウェーブシェービング(半円)を作る作業					
第3回	理論と基礎技術 ウェーブ・リッジ作成		フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第4回			3回目迄の復習→後頭部でフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第5回								
第6回							両サイドのブロッキングをはずし、ローションを塗布し、2段目からフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業	
第7回								
第8回			2段目フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第9回								
第10回	理論と基礎技術 構成		2段目3段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第11回								
第12回			2段目～4段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第13回			2段目～5段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第14回			2段目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第15回								
第16回	理論と基礎技術 構成		2段目～7段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業					
第17回	理論と基礎技術 構成・クロッキノールカール		2段目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業 7段目クロッキノールカール作成					
第18回								
第19回								
第20回								
第21回								
第22回			2段目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る作業 7段目クロッキノールカール、3段目スカルプチュアカール作成					
第23回								
第24回								
第25回	理論と基礎技術 構成・クロッキノールカール		1段目馬蹄形の説明→馬蹄形を作る 1段目スカルプチュアカール作成					
第26回			1段目スカルプチュアカール作成					
第27回			1段目スカルプチュアカール→2段目フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る					
第28回	理論と基礎技術 スカルプチュアカール		1段目スカルプチュアカール→5段目フィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジを作る					
第29回			1段目スカルプチュアカール→2段目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る					
第30回			1段目スカルプチュアカール→2段目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る					
第31回			1段目スカルプチュアカール→2段目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る					
第32回	理論と基礎技術 スカルプチュアカール		1段目スカルプチュアカール→2段目～6段目のフィンガーウェーブ シェービング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る					
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	衛生と技術の解説							
成績評価	単位認定 60点以上 実技試験 評価ポイントは別途							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習(ヘア I)		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	4単位 120	学年	1年	曜日 時限	月・火・水
授業の概要	ヘアセッティング							
学習目的	ウェーブについて裏付けとなる理論を理解し確かな技術を得得する							
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルへの引き上げ 2. 正確な技術の習得 3. 人間性の醸成 4. セッティングやデザインの復元に富んだ長持ちするコムアウトが容易にできるようになる							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第33回	理論と基礎技術 スカルプチュアカール	1段目スカルプチュアカール→2段目～6段目のフィンガーウェーブシェーピング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る						
第34回		1段目スカルプチュアカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピニング)						
第35回	全体の構成とカール・ウェーブのサイズ	1段目スカルプチュアカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピニング)→作成しながら2段目につなげる構成を理解する						
第36回		1段目スカルプチュアカール→2段目～6段目のフィンガーウェーブシェーピング(半円)、リッジ→7段目クロッキノールカールを作る						
第37回		7段目クロッキノールカールの復習(ウェーブ、スライスの取り方、シェーブの方法、ピニング)						
第38回		フロント(スカルプチュアカール)～7段目(クロッキノールカール)まで作成し、全体のバランスみながら35分で仕上げる事を達成目標とする						
第39回		フロント(スカルプチュアカール)～7段目(クロッキノールカール)まで作成し、全体のバランスみながら30分で仕上げる事を達成目標とする 正確サイズで仕上げる						
第40回		1段目・・・サイズに忠実に6分目安で作成する						
第41回		2～6段目・・・サイズに忠実に、構成を把握し、2段目～4段目→各3分、5～6段目→各2分、7段目→5分でウェーブとリッジを作成する(計13分目安)						
第42回		7段目・・・サイズに忠実に5分目安で作成する						
第43回		1段目(6分)、2～4段目(各3分)、5～6段目(各2分)、7段目(5分)の目安でパート別に構成を把握することを目標とする						
第44回		全体の構成とカール・ウェーブのサイズ	1 段目：フロント(スカルプチュアカール) 2 段目：ウェーブ・リッジ 3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ 5 段目：ウェーブ・リッジ 6 段目：ウェーブ・リッジ 7 段目：クロッキノールカール までを35分で仕上げる事を目標とする					
第45回	確認テスト					全頭35分以内に仕上げる		
第46回	後期期末試験課題作成	1 段目：フロント(スカルプチュアカール) 2 段目：ウェーブ・リッジ 3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ 5 段目：ウェーブ・リッジ 6 段目：ウェーブ・リッジ 7 段目：クロッキノールカール までを32分で仕上げる事を目標とする						
第47回		確認テスト					全頭32分以内に仕上げる	
第48回	後期期末試験課題作成	1 段目：フロント(スカルプチュアカール) 2 段目：ウェーブ・リッジ 3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ 5 段目：ウェーブ・リッジ 6 段目：ウェーブ・リッジ 7 段目：クロッキノールカール までを29分で仕上げる事を目標とする						
第49回		評価項目【国家に准じる】 * 全体の構成が理解出来ている * スカルプチュアカール・クロッキノールカールのサイズ、位置、作り方を理解している * ウェーブのシェーブを常に床と並行に動かし、面を揃えて正確にCカールを作る事が出来る * 正確なシェーピングをし、ウェーブの面が揃うリッジを作る事が出来る						
第50回	確認テスト	全頭29分以内に仕上げる						
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	衛生と技術の解説							
成績評価	単位認定 60点以上 実技試験 評価ポイントは別途							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習(ヘア I)		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	4単位 120	学年	1年	曜日 時限	月・火・水
授業の概要	ヘアセットिंग							
学習目的	ウェーブについて裏付けとなる理論を理解し確かな技術を得得する							
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルへの引き上げ 2. 正確な技術の習得 3. 人間性の醸成 4. セットिंगやデザインの復元に富んだ長持ちするコムアウトが容易にできるようになる							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第85回	後学期末試験課題作成	1 段目：フロント（スカルプチュアカール） 2 段目：ウェーブ・リッジ 3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ 5 段目：ウェーブ・リッジ 6 段目：ウェーブ・リッジ 7 段目：クロッキノールカール までを27分で仕上げる事を目標とする						
第86回								
第87回								
第88回								
第89回								
第90回								
第91回								
第92回	後学期末試験課題作成	評価項目【国家に准じる】 * 全体の構成が理解出来ている * スカルプチュアカール・クロッキノールカールのサイズ、位置、作り方を理解している * ウェーブのシェーブを常に床と並行に動かし、面を揃えて正確にCカールを作る事が出来る * 正確なシェーピングをし、ウェーブの面が揃うリッジを作る事が出来る						
第93回	確認テスト	全頭27分以内に仕上げる						
第94回～ 第120回	後学期末試験課題作成	1 段目：フロント（スカルプチュアカール） 2 段目：ウェーブ・リッジ 3 段目：ウェーブ・リッジ 4 段目：ウェーブ・リッジ 5 段目：ウェーブ・リッジ 6 段目：ウェーブ・リッジ 7 段目：クロッキノールカール までを25分で仕上げる事を目標とする 評価項目【国家に准じる】 * 全体の構成が理解出来ている * スカルプチュアカール・クロッキノールカールのサイズ、位置、作り方を理解している * ウェーブのシェーブを常に床と並行に動かし、面を揃えて正確にCカールを作る事が出来る * 正確なシェーピングをし、ウェーブの面が揃うリッジを作る事が出来る						
	確認テスト	全頭25分以内に仕上げる						
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	衛生と技術の解説							
成績評価	単位認定 60点以上 実技試験 評価ポイントは別途							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習(メイク)		担当者	学科	美容科	開講期	30年前期
	トータルビューティ分野	実習	単位 (時間)	学年	1年	曜日 時限	金 3、4
授業の概要	クレンジング～ベースメイク作成、ポイントメイクの楽しさを知る						
学習目的	JMA3級資格取得の為のベーシックメイク、を身に付ける						
学習目標							
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	授業の進め方・道具のチェック&手入れ法	授業を受ける際の注意事項・道具の点検と道具の手入れ方法					
第2回	道具の置き方・身だしなみ・ポイントメイクデモ	セッティングや身だしなみ、セルフメイクの仕方					
第3回	ポイントクレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使ったポイントクレンジングの練習と相モデル練習					
第4回	全体クレンジングデモ・相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの練習と相モデル練習					
第5回	クレンジング復習・クレンジング相モデル練習	ウイッグを使った全体クレンジングの復習&相モデル練習					
第6回	化粧水デモ・化粧水相モデル練習	化粧水の相モデル練習					
第7回	ポイントメイククレンジング～化粧水相モデル練習	相モデルにてレッスン					
第8回	プライマーデモ・相モデル練習	プライマー相モデル練習					
第9回	ポイントクレンジング～プライマー相モデル練習	スキンケア総復習相モデル練習					
第10回	コントロールカラーデモ・相モデル練習	コントロールカラーのつけ方と相モデル練習					
第11回	スキンケア～コントロールカラー・ファンデデモ	スキンケア～コントロールカラー相モデル練習など					
第12回	ファンデーション相モデル練習	ファンデーションのつけ相モデル方練習					
第13回	スキンケア～ファンデ・コンシーラーデモ	スキンケア～ファンデ相モデル練習・カバーの仕方					
第14回	コンシーラー相モデル練習	それぞれに合ったコンシーラー相モデル練習					
第15回	スキンケア～コンシーラー・フェイスパウダーデモ	スキンケア～コンシーラー相モデル練習・パウダーの仕方					
第16回	フェイスパウダー相モデル練習	フェイスパウダーのつけ方相モデル練習					
第17回	スキンケア～フェイスパウダー	スキンケア～フェイスパウダー相モデル練習					
第18回	ハイライト・ローライト・ニュアンスデモ&練習	ハイライト・ローライト・ニュアンスの相モデル練習					
第19回	スキンケア～ベースメイク完成(3級模擬試験)	スキンケア～ベースメイクの模擬試験					
第20回	アイブロウデモ・アイブロウ相モデル練習	それぞれに合ったアイブロウの描き方相モデル練習					
第21回	スキンケア～アイブロウ・アイメイクデモ	スキンケア～アイブロウ相モデル練習・アイメイクの仕方					
第22回	アイメイク相モデル練習	それぞれに合ったアイメイクの相モデル練習					
第23回	スキンケア～アイメイク・リップデモ	スキンケア～アイメイク相モデル練習・リップのいれ方					
第24回	リップ相モデル練習	それぞれに合ったリップのつけ方練習					
第25回	スキンケア～リップ・チークデモ	スキンケア～リップ相モデル練習・チークのいれ方					
第26回	チーク相モデル練習	チークを入れてフルメイク完成相モデル練習					
第27回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策					
第28回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策					
第29回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策					
第30回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2・3級検定対策					
教科書	JMA日本メイクアップ技術検定協会テキスト2・3級						
参考書							
成績評価	単位認定：JMA3級・希望者は2級資格取得 又は学内(実技)試験60点以上						
履修のポイント	出席率80%以上 補講は行わない						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（ネイル）		担当者		学科	美容科	開講期	30年度前期	
区分	ビューティ基礎 （美容師）	必修 選択必修	単位 （時間）	2単位 60	学年	1年	曜日 時限	木 3.4	
授業の概要	ネイル基礎知識・ネイルケア・カラーリング・検定アート・検定3級対策								
学習目的	ネイル技能と知識の基礎を習得 JNECネイリスト技能検定試験3級取得を目指し、即戦力となる技術を身につける								
学習目標	7月 JNECネイリスト技能検定試験3級受験								
授 業 計 画									
回	主 題	授 業 内 容					備 考		
第1・2回	初回授業説明 理論	教材配布・検品・テーブルセッティング ネイル概論							
第3・4回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論							
第5・6回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論							
第7・8回	ネイルケア基礎	消毒・ファイル・キューティクルクリーン ネイル概論							
第9・10回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論							
第11・12回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ 小テスト							
第13・14回	ネイルケア基礎	ネイルアート							
第15・16回	ネイルケア基礎	ネイルケア・カラーリング・カラーオフ ネイル概論							
第17・18回	ネイルケア基礎	ネイルアート							
第19・20回	検定対策	3級対策							
第21・22回	検定対策	3級対策							
第23・24回	検定対策	3級対策							
第25・26回	検定対策	3級対策・模擬検定							
第27・28回	検定対策	ネイルアート							
第29・30回	検定対策	ネイルアート							
教科書	JNAテクニカルシステム（ベーシック）								
参考書									
成績評価	単位 認定	60	点以上	小テスト（20%）模擬検定（20%）課題提出（10%）期末テスト（実技・筆記） （50%）授業態度を加味して成績評価を行う					
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない 本授業は積み上げの知識・技術が必要なため、必ず復習を行ってから授業に臨む事。 授業開始時には事前準備を済ませておく事。								
オフィス ・アワー	随時								

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（ヘアアレンジ）		担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	トータルビューティ分野	実習	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	月 2
授業の概要	基本的なセッティング技法を学ぶ							
学習目的	お客様のシーンに合わせたスタイルを知り、作成できる力を身に付ける							
学習目標	現場で要望の多いスタイルを短時間で手早く仕上げられるようになる							
授業計画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
1回	ブラシ・コームの使い方		ブラシ・コームの持ち方、使用目的					
2回	ピン止め/逆毛/コーミング/1束止め (ボニーテール) ができるようになる		ピンの種類・役割/ゆるんでこないピンの打ち方 ゴムの止め方					
3回	ホットカーラー・アイロンを使って ヘアを巻く事ができる		ホットカーラーの大きさ巻く方向によつての カールの違いをみる					
4回	1束止め・カールをいかした ダウン・アップスタイルを作成することができる		カールを使ってダウン・アップスタイルを作成する					
5回	1束止め・カールをいかした ダウン・アップスタイルを作成することができる		面をこわさない作り方・方法					
6回	編みこみアレンジができる		表編み、裏編みの違いをみる					
7回	編みこみアレンジができる		編み込みスタイル作成					
8回	夜会巻きアレンジができる		ピンの止め方・逆毛の立て方・ブラシの入れ方 コームの入れ方					
9回	夜会巻きアレンジができる		夜会巻きスタイル作成					
10回	1束、編み込み、夜会巻きを入れたスタイル作成		スタイルのバランス、束間、用途に合わせたスタイリング剤の選定					
11回	1束、編み込み、夜会巻きを入れたスタイル作成		スタイルのバランス、束間、用途に合わせたスタイリング剤の選定					
12回	オリジナルデザインスタイル作成		スタイル画からイメージした作品が思った通り形になるか					
13回	オリジナルデザインスタイル作成		スタイル画からイメージした作品が思った通り形になるか					
14回	スタイル写真を見てアップスタイルを 作成することができる		課題作成（カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、）					
15回	スタイル写真を見てアップスタイルを 作成することができる		課題作成（カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、）					
教科書	美容技術理論 1・2 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
テキスト	『新井唯夫のセットアップレッスン』『ベーシックアップ新美容出版』新美容出版（株）、『ショートでアップ』女性モード社							
成績評価	単位認定（60点以上） 課題作成 ※ 評価方法は別途							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（着付）		担当者	学科	美容科	開講期	30年後期	
区分	ビューティ基礎 （美容師）	必修	単位 （時間）	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	金 3
授業の概要	着付けの理論と技術の修得							
学習目的	美しい着付けとはどのようなものかを知る							
学習目標	国家試験筆記に向けて、和装用語を実際に見て学ぶ。 留袖着付けの修得。							
授業計画								
回	主題	授業内容				備考		
第1回	和装基礎知識 1	美容技術理論②P131～139.176 全ての着物の展示を教科書に照らし合わせて理解する						
第2回	和装基礎知識 2	美容技術理論②P140～143.176 p149.158を現物で理解する						
第3回	和装基礎知識 3	美容技術理論②P144各部の名称、P145～147たみ方を現物に照らし合わせて理解する						
第4回	和装基礎知識 4	美容技術理論②P144各部の名称、P145～147たみ方を現物に照らし合わせて理解する						
第5回	和装基礎知識 5（まとめ）	筆記試験（第4回までの範囲）						
第6回	着付けの理論と技術の修得 1	<u>女子</u> 補正～長襦袢まで着付ける	<u>男子</u> 補正～長襦袢着付ける		↓男女別、2教室に分かれて実習を行う			
第7回	着付けの理論と技術の修得 2	<u>女子</u> 着物まで着付ける	<u>男子</u> 着物まで着付ける					
第8回	着付けの理論と技術の修得 3	<u>女子</u> 着物まで着付ける	<u>男子</u> 帯結びまで着付ける					
第9回	着付けの理論と技術の修得 4	<u>女子</u> 帯結びまで着付ける	<u>男子</u> 袴着まで着付ける					
第10回	着付けの理論と技術の修得 5	<u>女子</u> 補正～帯結び迄をとおして着付ける	<u>男子</u> 補正～長襦袢～着物着付け～帯結び～袴着付けを25分で仕上げる					
第11回	着付けの理論と技術の修得 6	<u>女子</u> 補正～長襦袢を10分で準備し、着物着付け～帯結び迄を25分で仕上げる	<u>男子</u> 補正～長襦袢～着物着付け～帯結び～袴着付けを25分で仕上げる					
第12回	着付けの理論と技術の修得 7	<u>女子</u> 補正～長襦袢を10分で準備し、着物着付け～帯結び迄を25分で仕上げる	<u>男子</u> 補正～長襦袢～着物着付け～帯結び～袴着付けを25分で仕上げる					
第13回	着付けの理論と技術の修得 8	<u>女子</u> 補正～長襦袢を10分で準備し、着物着付け～帯結び迄を25分で仕上げる	<u>男子</u> 補正～長襦袢～着物着付け～帯結び～袴着付けを25分で仕上げる					
第14回	着付けの理論と技術の修得 9（まとめ）	<u>女子</u> 留袖着付け実技試験	<u>男子</u> 男袴着付け実技試験					
第15回	着付けの理論と技術の修得 10（まとめ）	<u>女子</u> 留袖着付け実技試験	<u>男子</u> 男袴着付け実技試験					
参考書	美容実習2 美容技術理論2 日本理容美容教育センター							
成績評価	単位認定 60点以上 実技試験60%（女子：着物から帯迄の着付け25分 男子：長じゅばんから袴までの着付け25分） 筆記試験40%							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容保健Ⅲ 皮膚科学		担当者	学科	美容科	開講期	31年前期	
区分	ビューティ基礎 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	金 2
授業の概要	二年、計60回(120時間)のうち後半(皮膚科学)である。国家試験は最重要であるが、美容師になるための必要知識、技能、態度の取得、論理的思考、合理的な処理能力社会に対する適応力など職業人教育の観点から授業を進める。 また、理解しやすいよう、適宜視聴覚教材を利用する。							
学習目的	皮膚・毛髪などを主とする、人体の構造、機能に関する科学的系統的知識を美容技術と関連づけて学ばせる。							
学習目標	1. 美容師国家試験(関係法規・制度)合格レベルの知識習得 2. 人間性の醸成							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	皮膚の構造		皮膚の表面・断面					
第2回			表皮・真皮・皮下組織・部位差					
第3回	皮膚付属器官の構造		毛					
第4回			脂腺・汗腺・爪					
第5回	皮膚の循環系と神経系		血管・リンパ管・神経					
第6回	総合学習		皮膚の構造・付属器官・循環系・神経系 まとめ					
第7回								
第8回	皮膚の付属器官の生理機能		対外保護作用・体温調節作用					
第9回			知覚作用・皮膚反射・分泌排泄作用・呼吸作用					
第10回			吸収作用・免疫・毛・爪のはたらき					
第11回	皮膚の付属器官の保健		皮膚と全身状態・皮膚と精神・栄養・嗜好品					
第12回			皮膚と体内病変・皮膚の水分と脂の状態					
第13回			皮膚・付属器官とホルモン					
第14回			皮膚・毛・爪の保護と手入れ					
第15回	総合学習		皮膚の付属器官の生理機能・保健まとめ					
教科書	理容・美容保健 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30%(15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	化粧品化学Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	ビューティ基礎 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	金 1
授業の概要	実学としての化粧品化学を理解できるように授業を進める。また、「関係法規・制度」、「衛生管理」、「理容・美容保健」など、他教科との関連性についても適宜述べる。							
学習目的	美容師として極めて重要な意義をもつ「化粧品化学の基本原理の理解と応用能力」を身に付けさせる。							
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルの知識習得 2. 人の生体の成分に化学変化を与える化粧品の基本知識の習得し、その危険性について認識する。 3. 化粧品化学の知識・理解を深め美容の専門家への道を拓く。 4. 人間性の醸成							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	化学分野の復習	化学(物質の構造・溶液とコロイド・酸と塩基と塩・酸化還元反応・有機化合物) について確認						
第2回	化粧品概論	化粧品概論(社会的意義と品質特性・化粧品の規定)について学ぶ						
第3回	化粧品用原料	水性原料(水・エタノール) 油性原料(油脂・ロウ類・炭化水素・その他の油性原料)について学ぶ。						
第4回		界面活性剤の基本的性質・種類・化粧品への応用と 高分子化合物を学ぶ						
第5回		色材と化粧品・無機顔料・タール色素・光輝生顔料・天然色素について学ぶ						
第6回		香料と化粧品・香料の種類・調合香料について学ぶ。						
第7回	基礎化粧品	皮膚清浄用化粧品(皮膚の汚れと洗浄作用・石鹼の種類とその性質・その他の洗浄剤)について学ぶ。						
第8回		化粧水、クリーム・乳液、その他の基礎化粧品について学ぶ						
第9回	メイクアップ用化粧品	メイクアップ用化粧品の種類と剤形・ベースメイクアップ化粧品・ポイントメイクアップ化粧品について学ぶ						
第10回	頭皮・毛髪用化粧品	皮膚や毛髪の性状、シャンプー剤(シャンプー剤・ヘアリンス剤・ヘアトリートメント剤)について学ぶ						
第11回		スタイリング剤の機能・油性スタイリング剤・液状スタイリング剤・高分子物質を基材とするスタイリング剤について学ぶ						
第12回		パーマの原理・パーマ剤第一剤・二剤と使用上の注意について学ぶ。						
第13回		ヘアカラーの種類と染毛メカニズムと染毛剤の種類について学ぶ						
第14回	その他の化粧品	芳香製品(香水・オーデオロン)、特殊化粧品(サンケア製品・美白用化粧品・制汗防臭剤・ニキビ用化粧品)について学ぶ						
第15回	化粧品の取扱い	化粧品の安定性と取扱い、化粧品によるトラブルについて学ぶ						
教科書	化粧品化学 日本理容美容センター							
参考書	「化粧品化学」「化粧品辞典」							
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30%(15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容文化論Ⅱ (デッサン)		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	美容専門	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	水 1
授業の概要	ファッションはそれが独立して存在するのではなく、時代の背景・他デザインやクリエイティブ業界と共に歩んできたことを、広く歴史の知識を織り込みながら講義する。							
学習目的	髪型、化粧、服装の変遷流行を学ぶことにより、時代背景とのつながりを読み解くことで、流行のメカニズムを知り、デザインを起すためのヒントとなりラフデザインなどを描けるようになり併せて、造形、色彩の原理などを学ぶことにより感性を高め、時代の要請に応えられるデザイナーとなる一助とする。							
学習目標	1. フェイスプロポーションデッサンを学ぶことにより、「美容」・「美しさ」とは何か、顔、髪型、化粧についての理解を深めるとともに表現できる手法を修得 2. クリエイティブ業界を取りまく社会情勢の理解 3. 人間性の醸成							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	オリエンテーション	鉛筆の削り方について太く削る・細く削る・平らに削る サツ筆などデッサンの基本事項復習						
第2回	顔のプロポーション	目幅(目頭～目じり)をもとに数字的に分割 眉頭～鼻先＝鼻先～顎先＝眉頭～額の生え際						
第3回	顔の部分練習基礎編	目の描き方・鼻の描き方・口の描き方						
第4回	顔の描き方①	正面向きレディス・メンズ						
第5回	顔の描き方②	斜め向きレディス・メンズ						
第6回	顔の描き方③	横向きレディス・メンズ						
第7回	ヘアの描き方	毛先の表現・線の長さによる違い・ウェーブヘア・ぼかして消しこむで描く 線の強弱						
第8回	角度の変化による顔型①	正面上向き・下向きレディス・メンズ						
第9回	角度の変化による顔型②	斜め上向き・下向きレディス・メンズ						
第10回	角度の変化による顔型③	横上向き・下向きレディス・メンズ						
第11回	色々な描き方①	写実的描き方						
第12回	色々な描き方②	省略的描き方						
第13回	ヘアデザイン画を描く(課題テスト)	出題テーマにそったデザイン画を作成						
第14回	ヘアデザイン画を描く(課題テスト)	出題テーマにそったデザイン画を作成						
第15回	ヘアデザイン画を描く(課題テスト)	出題テーマにそったデザイン画を作成						
教科書	ヘアスタイル画によるトータルファッション							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 出席状況・授業態度・課題テスト提出による相対評価							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	衛生管理Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	31年 前期
区分	ビューティ基礎 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	火 1
授業の 概要	美容師になる上で必要な感染症の知識を学習する。							
学習 目的	美容という仕事は多くの人間と接することの多い職業である。そのため衛生ということについて特に注意する必要がある。この講義では感染症予防という立場からいろいろな注意事項について解説する。							
学習 目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得。美容師の社会責任、職業倫理への理解。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	感染症を学習する目的		客、従業員を通しての感染症伝播の危険性を知る。					
第2回	感染症の種類		感染症の3つの分類を知り、感染症の種類を覚える。					
第3回	病原微生物		病原微生物の種類と形と大きさと構造を知る。					
第4回	微生物の増殖と環境の影響		細菌の増殖と環境の影響を理解する。					
第5回	感染症の予防		微生物の病原性と汚染、感染及び発病について学ぶ。					
第6回	常在細菌叢		人体の常在細菌叢を知る。					
第7回	免疫と予防接種		先天免疫、後天免疫、予防接種、ワクチンを知る。					
第8回	感染症発生の要因		感染源、感染経路、宿主の感受性。感染症の3大要因。					
第9回	感染症予防の3原則		感染源、感染経路、宿主の感受性に対する対策。					
第10回	感染症の予防 まとめ		汚染、感染、発病を理解させる。免疫と予防接種を学ぶ。					
第11回	感染症の概要		理容、美容と感染症。一類感染症を知る。					
第12回	二類感染症、三類感染症		二類感染症、三類感染症を知る。病原体、感染源、感染経路。					
第13回	四類感染症、五類感染症		四類感染症、五類感染症を知る。病原体、感染源、感染経路。					
第14回	新型インフルエンザ等感染症		新型インフルエンザ、予防接種法で規定されている感染症。					
第15回	感染症の概要 まとめ		感染症の病名、種別、病原体、性格を復習する。					
教科書	衛生管理技術 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30% (15回)							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	衛生管理Ⅲ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	ビューティ基礎 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	火 1
授業の概要	消毒法を知り、理学的消毒法、化学的消毒法の特徴を学ぶ。消毒薬の種類と濃度計算式を理解する。清潔保持と清掃の意義を知る。							
学習目的	美容所は不特定多数の人々が入り出ており、適切な消毒薬、消毒法を学ぶ。							
学習目標	美容師国家試験合格レベルの知識習得。美容師の社会責任、職業倫理への理解。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	消毒とは		消毒法の歴史					
第2回	病原微生物と非病原微生物		病原微生物の種類と構造・消毒の原理					
第3回	消毒の意義①		汚染・感染・発病と消毒の意義					
第4回	消毒の意義②		消毒・滅菌・殺菌・防腐の定義					
第5回	美容の業務と消毒との関係		消毒に関連のある法の規定					
第6回	消毒を怠った場合の危険と責任		美容所で起こりえる感染例・消毒の重要性					
第7回	消毒法と適用上の注意		消毒法の種類・病原微生物の抵抗力					
第8回	消毒法各論・理学的消毒法		紫外線消毒・煮沸消毒・蒸気消毒					
第9回	化学的消毒法		アルコール類の消毒・次亜塩素酸ナトリウム・界面活性剤・逆性石鹼					
第10回	すぐれた消毒法と実施上の注意		消毒法の条件、注意事項					
第11回	消毒法実習		各種消毒薬・消毒薬と希釈液の濃度					
第12回	消毒薬希釈法		各種消毒薬希釈の手順					
第13回	美容所の消毒の実際		消毒設備・器具の消毒法・消毒の現状					
第14回	美容所の消毒法の実際		洗剤による清浄法・衛生昆虫の駆除					
第15回	衛生管理技術のまとめ		消毒法と特徴・器具、布片の消毒法・希釈法					
教科書	衛生管理技術 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30% (15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術理論Ⅲ		担当者	学科	美容科	開講期	31年前期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	学年	2年	曜日 時限	金 3
授業の概要	国家試験課題を学習し理解することによって、実技課題の習得を容易にする。美容技術理論Ⅰ・Ⅱで学んだ事を土台として、さらにトータル的に美容について修得していく。						
学習目的	美容理論を学び幅広い知識を得ることで、サロンワークでの技術に結び付け応用することが可能になる。						
学習目標	美容技術理論の基礎がわかり、技術として結びつけることが出来るようになる						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	エステティック概論 皮膚の整理と構造について	エステの歴史について					
第2回	カウンセリング マッサージ理論について	身体構造を学ぶ					
第3回	フェイシャル技術について	皮膚の構造や生理、代表的な皮膚の異常な状態					
第4回	フェイシャル及び デコルテマッサージについて	デコルテの筋肉や僧帽筋について					
第5回	ボディケアについて	容姿全体の美的調和について					
第6回	総まとめ	エステティックは人の容姿を美しく整えることを目的とし、毛髪美粧以外の全身に関わる美容法を理解する。					
第7回	ネイル技術概論①	ネイルの歴史について					
第8回	ネイル技術概論②	ネイルケア・アーティフィシャルネイル					
第9回	爪の構造と機能	爪の各部名称について					
第10回	爪のカット形状	爪の形の違い					
第11回	ネイル技術と公衆衛生	ネイルに必要な衛生技術					
第12回	総まとめ	第1回～第11回のまとめ					
第13回	メイクアップ概論①	メイクの歴史について					
第14回	メイクアップ概論②	顔のプロポーション					
第15回	皮膚の整理と構造	表皮・真皮・付属器官について					
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター						
参考書							
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30% (15回)						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術理論Ⅳ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	水 2
授業の概要	国家試験課題を学習し理解することによって、実技課題の習得を容易にする。美容技術理論Ⅰ・Ⅱで学んだ事を土台として、さらにトータル的に美容について修得していく。							
学習目的	美容理論を学び幅広い知識を得ることで、サロンワークでの技術に結び付け応用することが可能になる。							
学習目標	美容技術理論の基礎がわかり、技術として結びつけることが出来るようになる							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	メイクアップ道具 スキンケア		ブラシ名称・クレンジングなどについて					
第2回	ファンデーション		ベース・アイブロー・アイメイク・リップ					
第3回	総まとめ		メイクアップとは単に顔の表面に色を塗ることだけではなく、「目的にあった顔づくり」を理解。感性・感覚・どんなニーズにも適応できる多面的な知識を学習。					
第4回	日本髪由来		日本髪の歴史について					
第5回	日本髪の各部の名称		島田髷における各部名称					
第6回	日本髪の種類と特徴		日本髪の代表的な髪形					
第7回	日本髪の装飾品		色打掛・花嫁衣裳に使用する装飾品					
第8回	日本髪の手入れ		日本髪由来・各部の名称・種類と特徴・調和や結髪道具・技術などを学習し理解する。					
第9回	着付けの目的		着付けの歴史について					
第10回	着物のいろいろ		代表的な着物を紹介する					
第11回	着物の各部名称		帯・小物の種類・着物名称・たたみ方など					
第12回	留袖・振袖について		留袖・振袖技術 小物の種類					
第13回	男子礼装・袴着付け		男子礼装の種類 袴の技術について					
第14回	花嫁		白・色打掛・小物の種類・ドレス名称					
第15回	着付けの理論と技術		着付けの目的・各部の名称・留袖・振袖の技術・男子の礼装・羽織・袴の技術・和装・礼装・花嫁などを学習し、理解する。					
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%＋毎時間小テスト30% (15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術理論Ⅴ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	木 1
授業の概要	国家試験課題を学習し理解することによって、実技課題の習得を容易にする。美容技術理論Ⅰ・Ⅱで学んだ事を土台として、さらにトータル的に美容について修得していく。							
学習目的	美容理論を学び幅広い知識を得ることで、サロンワークでの技術に結び付け応用することが可能になる。							
学習目標	美容技術理論の基礎がわかり、技術として結びつけることが出来るようになる							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	シャンプー剤の構成成分	界面活性剤ー洗浄作用、汚れをおとす						
第2回	シャンプー剤の構成成分	コンディショニング成分ーきしみをなくす、毛髪保護						
第3回	シャンプー剤の構成成分	増粘剤ーシャンプー液に粘度を出す						
第4回	シャンプー剤の構成成分	毛髪保護剤、湿潤剤ー毛髪保護、補修						
第5回	シャンプー剤の構成成分	香料ー製品の特徴づけ 防腐剤ー製品の安定化						
第6回	ヘアトリートメント剤の構成成分	界面活性剤ーきしみをなくす、静電気防止						
第7回	ヘアトリートメント剤の構成成分	コンディショニング成分ー毛髪保護						
第8回	ヘアトリートメント剤の構成成分	油剤ー油分補給、増粘効果						
第9回	ヘアトリートメント剤の構成成分	香料ー製品の特徴づけ						
第10回	ヘアトリートメント剤の構成成分	防腐剤ー製品の安定化、腐敗防止						
第11回	まつ毛エクステンション	道具・カウンセリング・アフターケア・クレンジング						
第12回	和装生地の知識	生地と特徴						
第13回	季節と生地・仕立て	季節に合わせての生地選び						
第14回	TPO別女子和装基本ルール	シーンに合わせての着物選び						
第15回	TPO別男子和装基本ルール	シーンに合わせての着物選び						
教科書	美容技術理論 1、2 美容実習 1、2 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位認定60点以上 期末試験70%+毎時間小テスト30% (15回)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術特論 I		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容共通分野	選択必修	単位	4単位	学年	2年	曜日	水・木
	(美容師)		(時間)	120			時限	3・4
授業の概要	期末試験・国家試験・コンテストに向けて、ウェーブ、ウィンディングの強化							
学習目的	国家試験に伴う衛生の準備から訓練し、本番に備える							
学習目標	国家試験の準備、流れを体得する							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
1・2回	ウィンディング①	時間の意識 復習	センター規定タイムで手技・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
3・4回	ウェーブ①	フロント 復習	フロントスカルプチュアカール配置・手技確認			前期試験対策		
5・6回	ウィンディング②	時間の意識 復習	フロント規定タイムで手技・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
7・8回	ウェーブ②	2段目を知る	ウェーブ・リッジ2段目のウェーブ幅の確認			前期試験対策		
9・10回	ウィンディング③	時間の意識 復習	バックサイド規定タイムで手技・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
11・12回	ウェーブ③	3段目を知る	3段目スカルプチュアカール配置・バランス確認			前期試験対策		
13・14回	ウィンディング④	時間の意識 復習	サイド規定タイムで手技・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
15・16回	ウェーブ④	4段目を知る	4段目右巻きリフトカール手技・配置確認			前期試験対策		
17・18回	ウィンディング⑤	時間の意識 復習	全頭規定タイムで手技・バランス・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
19・20回	ウェーブ⑤	5段目を知る	5段目左巻きリフトカール手技・配置確認			前期試験対策		
21・22回	ウィンディング⑥	時間の意識 復習	全頭規定タイムで手技・バランス・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
23・24回	ウェーブ⑥	6段目を知る	6段目メイボールカール手技・配置確認			前期試験対策		
25・26回	ウィンディング⑦	時間の意識 復習	全頭規定タイムで手技・バランス・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
27・28回	ウェーブ⑦	7段目を知る	7段目クロッキノールカール手技・配置確認			前期試験対策		
29・30回	ウィンディング⑧	時間の意識 復習	全頭規定タイムで手技・バランス・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
31・32回	ウェーブ⑧	規定タイムで仕上げる	全頭バランス・仕上がり確認			前期試験対策		
33・34回	ウィンディング⑨	時間の意識 復習	全頭規定タイムで手技・バランス・仕上がり確認			コンテスト・前期試験		
35・36回	ウェーブ⑨	時間の意識 (20分)	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
37・38回	ウィンディング⑩	時間の意識 復習	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
39・40回	ウェーブ⑨	時間の意識 (20分)	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
41・42回	ウィンディング⑪	時間の意識 復習	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
43・44回	ウェーブ⑨	時間の意識 (20分)	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
45・46回	ウィンディング⑫	時間の意識 復習	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
47・48回	ウェーブ⑨	時間の意識 (20分)	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
49・50回	ウィンディング⑬	時間の意識 復習	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
51・52回	ウェーブ⑨	時間の意識 (20分)	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
53・54回	ウィンディング⑭	時間の意識 復習	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
55・56回	ウェーブ⑨	時間の意識 (20分)	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
57・58回	ウィンディング⑮	時間の意識 復習	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
59・60回	ウェーブ⑨	時間の意識 (20分)	規定タイムで手技・仕上がり確認→改善点修正			前期試験対策・採点		
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	モデルウィッグ・テキストDVD 衛生と技術の解説							
成績評価	単位認定 60 点以上 模擬国家試験(国家試験規定に準じ評価を行う)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
備考	・ウィンディング→1年次の復習 作品の質を上げる ・オールウェーブ→2年次よりピンカール作成							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術特論Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容共通分野 (美容師)	選択必修	単位 (時間)	8単位 240	学年	2年	曜日 時限	月～金 1～4
授業の概要	国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復演習を行い資格取得をする							
学習目的	美容師国家資格取得							
学習目標	国家試験実技課題の知識と技術を身に付け試験に合格できる能力を身につける 第一課題→カット 第二課題→ウエーブ or ワインディング							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	第一課題 カット 概要を知る		シザースワーク・教材DVD鑑賞				テキスト・メモ	
第2回	第一課題 カット ブロッキングを知る		ブロッキング手技デモ見学・実践				坊主ウィッグ	
第3回	第一課題 カット 全頭の手順を知る		全頭カット手順デモ見学・実践 14cmでカット				ウィッグ①	
第4回	第二課題 オールウエーブ 復習		ウエーブ構成・幅・作成手順の確認					
第5回	第二課題 ワインディング 復習		1本の角度・スライス・シェーブ確認					
第6回	第二課題 ワインディング 復習		ブロッキング～全頭巻き～規定タイムで仕上がり確認					
第7回	第一課題 カット ブロック各の手順を知る		角度・長さ計測・パネル引き出し解説デモ				①14cmでカット	
第8回	第一課題 カット ブロック各の手順を知る		生え際2cmガイドカット→手技デモ→実践					
第9回	第一課題 カット ブロック各の手順を知る		第3、2、1セクションカット					
第10回	第一課題 カット ブロック各の手順を知る		サイド～フロントカット					
第11回	第一課題 カット ブロック各の手順を知る		EtoEブロック後頭部→前頭部カット					
第12回	第一課題 カット 全頭を切ってみる		全頭デモ（イメージを持つ）→全頭カット実践				①12cmでカット	
第13回	第一課題 カット 全頭を規定の長さで切る		仕上がりで理解度の確認・手技の確認				①10cm規定でカット	
第14回	第一課題 カット 改善点を踏まえて仕上げる		個別指導で手技の確認・失敗例の紹介				①8cmでカット	
第15回	第二課題 オールウエーブ 復習		ウエーブ構成・幅・作成手順の確認→改善箇所の演習				モデルウィッグ	
第16回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第17回	第二課題 ワインディング 復習		各ブロックを規定タイムで区切りスピード進捗確認				モデルウィッグ	
第18回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		全頭仕上げる→個別確認→仕上げチェック方法を知る				ウィッグ②14cm	
第19回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		長さの違いでの仕上がり確認				12cm	
第20回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		長さの違いでの仕上がり確認				②10cm・8cm	
第21回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		疑問点、勘違い箇所の改善・修正				③14cm・12cm	
第22回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		疑問点、勘違い箇所の改善・修正				③10cm・8cm	
第23回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第24回	第二課題 ワインディング 復習		規定20分の仕上がり確認→細かい注意点を自覚・改善					
第25回	第二課題 ワインディング 復習		規定20分の仕上がり確認→細かい注意点を自覚・改善					
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	第一課題・第二課題モデルウィッグ 衛生と技術の解説DVD							
成績評価	単位認定 60 点以上 模擬国家試験（国家試験規定に準じ評価を行う）							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
備考	学生一人につき、カットウィッグ50体を購入。授業で45体使用。残り5体は自主練習用として使用する							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術特論Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容共通分野 (美容師)	選択必修	単位 (時間)	8単位 240	学年	2年	曜日 時限	月～金 1～4
授業の概要	国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復演習を行い資格取得をする							
学習目的	美容師国家資格取得							
学習目標	国家試験実技課題の知識と技術を身に付け試験に合格できる能力を身につける 第一課題→カット 第二課題→ウェーブ or ワインディング							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第26回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		規定10cmで一発切り→全頭の仕上がり確認				④10cm	
第27回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		規定10cmで一発切り→全頭の仕上がり確認					
第28回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		注意点を踏まえて確認カット				④8cm	
第29回	第一課題 カット エアカット		手順・角度・シザースワーク・パネルの確認					
第30回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		30分全頭仕上げ→1パネル2シェープの癖付け				⑤14cm	
第31回	第一課題 カット エアカット		手順・角度・シザースワーク・パネルの確認					
第32回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		30分全頭仕上げ→1パネル2シェープの癖付け				⑤12cm	
第33回	第一課題 カット エアカット		手順・角度・シザースワーク・パネルの確認					
第34回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		30分全頭カット→仕上がりチェック・個別アドバイス				⑤10cm	
第35回	第一課題 カット 手順・角度・長さの確認		注意点を踏まえて確認カット				⑤8cm	
第36回	第一課題 カット エアカット		手順・角度・シザースワーク・パネルの確認					
第37回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		30分全頭カット→仕上がりチェック				⑥14cm	
第38回	第一課題 カット エアカット		手順・角度・シザースワーク・パネルの確認					
第39回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		30分全頭カット→仕上がりチェック				⑥12cm	
第40回	「衛生面」確認		準備物・配置・注意点の確認				テキスト	
第41回	第二課題 オールウェーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				モデルウィッグ	
第42回	第二課題 ワインディング 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				モデルウィッグ	
第43回	第一課題 カット エアカット						11月1日第2課題発表	
第44回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		30分全頭カット→仕上がりチェック				⑥10cm ↓	
第45回	第一課題 カット 全頭再デモ		質疑応答→実践				⑥8cm ウェーブと	
第46回	第二課題 オールウェーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				ワインディングの	
第47回	第二課題 オールウェーブ 復習		各ブロック・ピンカール再説明→確認・改善				何れかの訓練	
第48回	第二課題 オールウェーブ 復習		注意点を踏まえて仕上げる					
第49回	第一課題 カット チェックテスト		【30分確認テスト】時間内に仕上げる手の使い方を得る				採点・評価 ⑦	
第50回	国試願書記入・受験案内の確認		準備物・配置・注意点の確認				受験案内	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	第一課題・第二課題モデルウィッグ 衛生と技術の解説DVD							
成績評価	単位認定 60 点以上 模擬国家試験（国家試験規定に準じ評価を行う）							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
備考	学生一人につき、カットウィッグ50体を購入。授業で45体使用。残り5体は自主練習用として使用する							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術特論Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容共通分野 (美容師)	選択必修	単位 (時間)	8単位 240	学年	2年	曜日 時限	月～金 1～4
授業の概要	国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復演習を行い資格取得をする							
学習目的	美容師国家資格取得							
学習目標	国家試験実技課題の知識と技術を身に付け試験に合格できる能力を身につける 第一課題→カット 第二課題→ウエーブ or ワインディング							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第51回	第一課題	カット 準備・衛生面確認	顔面ふき取り作業の確認					
第52回	第一課題	カット 準備・衛生面確認	25分全頭カット→仕上がりチェック				⑧14cm	
第53回	第一課題	カット 準備・衛生面確認	25分全頭カット→仕上がりチェック				⑧12cm	
第54回	第一課題	カット 全頭再デモ	規定20分カットのデモ→規定のスピードを知る					
第55回	第一課題	カット 準備・衛生面確認	規定20分カットを試してみる				⑧10cm	
第56回	第一課題	カット 準備・衛生面確認	顔面ふき取り作業・床シート上の髪の毛処理方法					
第57回	第二課題	オールウエーブ 復習	各ブロックデモ・手技確認・チェックポイント確認					
第58回	第二課題	オールウエーブ 復習	デモを踏まえて手技確認・チェックポイント確認					
第59回	第二課題	オールウエーブ 復習	顔面ふき取り・衛生面チェック					
第60回	第二課題	オールウエーブ 復習	顔面ふき取り・衛生面チェック					
第61回	第一課題	カット チェックテスト	【25分確認テスト】時間内に仕上げる手の使い方を得る				⑨	
第62回	第一課題～第二課題	衛生面チェック	衛生面→第一課題→第二課題通しで確認				⑩ 国試準備・流れ確認	
第63回	第一課題	カット 全頭再デモ	15分カットのスピードを知る→手を早く動かす意識					
第64回	第一課題	カット 時間の意識・手を早める	20分全頭カット→仕上がりチェック				⑪	
第65回	第二課題	オールウエーブ 復習	規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第66回	第一課題～第二課題	衛生面チェック	国試本番の流れを通して、全体を知る				⑫ 国試机上配置確認	
第67回	第二課題	オールウエーブ 復習	顔面ふき取り・衛生面チェック					
第68回	第二課題	オールウエーブ 復習	苦手箇所を知り改善					
第69回	第二課題	オールウエーブ 復習	ウエーブとピンカールつなぎ・ウエーブ・リッジの確認					
第70回	第二課題	オールウエーブ 復習	手技・勘違いがないか確認・改善				モデルウィッグ	
第71回	第一課題	カット チェックテスト	【20分確認テスト】国試合格レベルが見極める				採点・評価⑬	
第72回	第一課題	カット 時間の意識・手を早める	手技・勘違いがないか確認・改善				⑭	
第73回	第一課題～第二課題	衛生面チェック	失敗しやすい箇所の確認				採点・評価⑮	
第74回	第一課題～第二課題	衛生面チェック	衛生面の注意事項確認				採点・評価⑯	
第75回	第一課題～第二課題	衛生面チェック	国試本番の流れを通して、全体を知る				採点・評価⑰	
第76回	第二課題	オールウエーブ 復習	規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価	
第77回	第二課題	オールウエーブ 復習	規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価	
第78回	第二課題	オールウエーブ 復習	苦手箇所を知り改善					
第79回	第二課題	オールウエーブ 復習	苦手箇所を知り改善					
第80回	第一課題	カット 時間の意識・手を早める	20分全頭カット→仕上がりチェック				⑰	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	第一課題・第二課題モデルウィッグ 衛生と技術の解説DVD							
成績評価	単位認定 60 点以上 模擬国家試験（国家試験規定に準じ評価を行う）							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
備考	学生一人につき、カットウィッグ50体を購入。授業で45体使用。残り5体は自主練習用として使用する							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術特論Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容共通分野 (美容師)	選択必修	単位 (時間)	8単位 240	学年	2年	曜日 時限	月～金 1～4
授業の概要	国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復演習を行い資格取得をする							
学習目的	美容師国家資格取得							
学習目標	国家試験実技課題の知識と技術を身に付け試験に合格できる能力を身につける 第一課題→カット 第二課題→ウエーブ or ワインディング							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第81回	第二課題 オールウエーブ 復習		ウエーブ・リッジの確認→幅・半円・ピンカールつなぎ					
第82回	卒業認定試験（後期試験）		国試本番の緊張感を味わう・慣れる				職員・下級生見学⑲	
第83回	卒業認定試験（後期試験）		国試本番の緊張感を味わう・慣れる				職員・下級生見学	
第84回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第85回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第86回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第87回	第二課題 オールウエーブ 復習		各ブロック見直し 手技・仕上がりの再確認					
第88回	第二課題 オールウエーブ 復習		各ブロック見直し バランス・繋がりの再確認					
第89回	「衛生面」		準備・注意事項 細部までの共有・確認				受験案内	
第90回	第二課題 オールウエーブ 復習		各ブロック見直し 手技・仕上がりの再確認					
第91回	第二課題 オールウエーブ 復習		各ブロック見直し バランス・繋がりの再確認					
第92回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第93回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価⑳	
第94回	第一課題 カット 各ブロック見直し・手技・仕上がりの再確認		問題点を発見し改善する				採点・評価㉑	
第95回	第一課題～第二課題 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉒	
第96回	第一課題 カット 各ブロック見直し・手技・仕上がりの再確認		問題点を発見し改善する				採点・評価㉓	
第97回	第一課題 カット 各ブロック見直し・手技・仕上がりの再確認		問題点を発見し改善する				採点・評価㉔	
第98回	第一課題 カット 各ブロック見直し・手技・仕上がりの再確認		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価㉕	
第99回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第100回	第一課題～第二課題 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉖	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	第一課題・第二課題モデルウィッグ 衛生と技術の解説DVD							
成績評価	単位認定 60 点以上 模擬国家試験（国家試験規定に準じ評価を行う）							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
備考	学生一人につき、カットウィッグ50体を購入。授業で45体使用。残り5体は自主練習用として使用する							

平成30年度 シラバス

科目名	美容技術特論Ⅱ		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容共通分野 (美容師)	選択必修	単位 (時間)	8単位 240	学年	2年	曜日 時限	月～金 1～4
授業の概要	国家試験で定められた課題を作成し、合格レベルまで反復演習を行い資格取得をする							
学習目的	美容師国家資格取得							
学習目標	国家試験実技課題の知識と技術を身に付け試験に合格できる能力を身につける 第一課題→カット 第二課題→ウエーブ or ワインディング							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第101回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第102回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有					
第103回	第一課題～第二課題 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価⑳	
第104回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		問題点を発見し改善する				採点・評価㉑	
第105回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価㉒	
第106回	第一課題～第二課題 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉓	
第107回	第一課題 カット 各ブロック見直し・手技・仕上がりの再確認		問題点を発見し改善する				採点・評価㉔	
第108回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価㉕	
第109回	第一課題 カット 時間の意識・手を早める		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価㉖	
第110回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価	
第111回	第一課題～第二課題 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉗	
第112回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価	
第113回	第二課題 オールウエーブ 復習		規定時間内で手技確認・仕上がり共有				採点・評価	
第114回	第一課題(20分)～第二課題 (20分 or 25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉘	
第115回	第一課題(20分)～第二課題 (20分 or 25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉙	
第116回	第一課題(20分)～第二課題 (20分 or 25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉚	
第117回	第一課題(20分)～第二課題 (20分 or 25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉛	
第118回	第一課題(20分)～第二課題 (20分 or 25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉜	
第119回	第一課題(20分)～第二課題 (20分 or 25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉝	
第120回	第一課題(20分)～第二課題 (20分 or 25分) 衛生面チェック		国試本番の流れを通して、本番を想定する				採点・評価㉞	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	第一課題・第二課題モデルウィッグ 衛生と技術の解説DVD							
成績評価	単位認定 60 点以上 模擬国家試験(国家試験規定に準じ評価を行う)							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
備考	学生一人につき、カットウィッグ50体を購入。授業で45体使用。残り5体は自主練習用として使用する							

科目名	美容実習(ヘアⅡ)		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期	
区分	美容専門	必修	単位	2単位	学年	2年	曜日	水	
	(美容師)		(時間)	60			時限	3・4	
授業の概要	ヘアセッティング (国家試験第2課題)								
学習目的	ウェーブについて裏付けとなる理論を理解し確かな技術を習得する								
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベルへの引き上げ 2. 正確な技術の習得 3. 人間性の醸成 4. セッティングやデザインの復元に富んだ長持ちするコームアウトが容易にできるようになる								
授 業 計 画									
回	主 題	授 業 内 容					備考		
1・2回	実力確認テスト	一段目はスカルプチュアカール、2段目～6段目はオールウェーブ、7段目はクロッキノールカールの全頭で完成する (1年目の課題スタイル)					タイム計測25分		
3・4回	難点部分の技術強化	実力テストで自分の難点部分を知り、技術と理解を改善する							
5・6回	実力再確認テスト	上記スタイルで、国家試験基準の十分な到達レベルに仕上げる							
7・8回	4段目にリフトカールの作製	リフトカールの定義を知り、技術指導を受け作れるようになる					オールウェーブの中央1/3は作らない状態で準備する		
9・10回	5段目に逆リフトカールの作製	逆リフトカールの定義を知り、技術指導を受ける作れるようになる							
11・12回	リフトカール・逆リフト 難点部分の技術強化と確認テスト	リフトカールと逆リフトを国家試験基準の十分な到達レベルに仕上げる					時計の方向巻きと逆向き方向巻き		
13・14回	6段目にメイポールカールの作製 7段目にクロッキノールカールの作製	メイポールカールとクロッキノールカールの定義を知り、技術指導を受け作れるようになる					オールウェーブの中央1/3は作らない状態で準備する		
15・16回	メイポールカール・クロッキノールカール 難点部分の強化と確認テスト	各カールを国家試験基準の十分な到達レベルに仕上げる							
17・18回	全カールの難点部分の技術強化	確認テストでの自分の難点部分を知り、技術と理解を改善する							
19・20回	期末テスト試験課題の作製	期末テストスタイルのデモンストレーションよりスタイル構成を知る							
21・22回		技術の条件を理解して課題スタイルを完成させる					タイム計測30分		
23・24回	到達度テスト	合格基準に十分に到達した仕上げを2分前には、仕上げる					タイム計測27分		
25・26回	難点部分の技術強化						タイム計測26分		
27・28回	到達度テスト	23分で仕上げ2分で仕上げ確認をする					タイム計測25分		
29・30回	難点部分の技術強化						タイム計測25分		
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター								
参考書	衛生と技術の解説								
成績評価	単位認定 60点以上 (実技試験)	国家実技試験に準じ、課題 (*スカルプチュアカール・クロッキノールカールのサイズ、位置、作り方を理解している *ウェーブのシェーブを常に床と並行に動かし、面を揃えて正確にCカールを作る事が出来る *正確なシェーピングをし、ウェーブの面が揃うリッジを作る事が出来る)を理解している							
履修のポイント									
オフィス・アワー	水曜日以外の放課後で随時受け付けているが、前もって申し出ること。								

科目名	美容実習 (ワインディング II)		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	美容専門 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年生	曜日 時限	月 3
授業の概要	ワインディング (国家課題 I)							
学習目的	1. ワインディングは単にウェーブを求めるにとどまらずスタイル形成保持する施術である 2. 正確な技術と薬剤の知識を学ぶ							
学習目標	1. 美容師国家試験合格レベル・コンクールレベルの知識習得 2. ロッド使用しパーマの形成を理解する 3. 人間性の醸成							
授業計画								
回	主題	授業内容					備考	
第1回	実力確認テスト (何分で仕上げられるか)	自己ベストタイムを確認する					タイム計測	
第2回	実力確認テスト (ブロッキングとロットの配置)	正確なブロッキングが出来ているのか確認してもらう。ロッドの配置 (パネルの方向性、ステム角度、号数)は正確かを確認してもらう					タイム計測無し	
第3回	難点部分の技術強化	姿勢・立ち位置、道具類の使い方を再確認し、意識しながら作業をする					タイム計測無し	
第4回	難点部分の技術強化	スライス線を、美しく・正確に取れているのかを再確認し、作業する					タイム計測無し	
第5回	実力確認テスト (20分で正確に)	難点部分を改善し、目標タイムに入る					タイム計測	
第6回		難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める					タイム計測	
第7回	実力確認テスト (20分で正確に)	難点部分を改善し、目標タイム (20分) に入る					タイム計測 20分以内	
第8回		難点部分を改善しつつ、自己タイムを縮める					タイム計測	
第9回	美しい、コンクールを意識した作品完成	毛幅、面 (つや)、ゴムのねじれ、バランス、つながり、おくれ毛を意識する					タイム計測無し	
第10回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる					タイム計測	
第11回		目標タイムを設定し美しく、正確に仕上げる					タイム計測	
第12回	実力確認テスト (20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る					タイム計測 20分以内	
第13回	技術の定着	改善点を向上する技術を定着、タイム計測時も安定した技術を発揮する					タイム計測	
第14回	技術の安定							
第15回	実力確認テスト (20分で正確に美しく)	正確に美しく仕上げ、手直しタイム2分込みで、目標タイムに入る					タイム計測 20分以内	
教科書	美容実習 I 美容技術理論 I 日本理容美容教育センター							
参考書	衛生と技術の解説							
成績評価	単位認定 60点以上 実技試験 評価ポイントは別途							
履修の ポイント	美しく・正確に仕上げる為の技術を定着、そして安定した技術を発揮できるように指導をうける。							
オフィス ・アワー	水曜日以外の放課後で随時受け付けているが、前もって申し出ること。							

平成30年度 シラバス

科目名	カット応用		担当者	学科	美容科	開講期	31年前期
区分	美容専門	実習	単位 (時間)	学年	2年	曜日 時限	木 2
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る						
学習目的	美容師に必要なクリエイティブカット技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける						
学習目標	wigを⑤台使用し、サロンカット～デザインカットまでを理解する→最終日には作品提出を行う						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	ヘアカッティング応用知識を知る	ヘアトラベル・オーバーダイレクション・リフティング				ウィッグ①・テキスト	
第2回	wig①サロンワンレングスボブ	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト	
第3回	wig①サロンワンレングスボブ	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザースワーク	
第4回	wig①ラウンドグラデーションボブ	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト	
第5回	wig①ラウンドグラデーションボブ	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザースワーク	
第6回	wig②ミディアムレイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②ミディアムレイヤーカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザースワーク	
第8回	wig②セიმレイヤーカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト	
第9回	wig②セिमレイヤーカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザースワーク	
第10回	wig③2セクションカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト	
第11回	wig③2セクションカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザースワーク	
第12回	wig④マルチセクションカット	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ④・テキスト	
第13回	wig④マルチセクションカット	毛量調節・スタイル理解・仕上げブロー・スタイリング				シザースワーク	
第14回	wig⑤作品作成	カット展開図からパネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ⑤・テキスト	
第15回	wig⑤作品作成	履修内容を活かし自由に作品作成				ウィッグ⑤・テキスト	
教科書 参考書	テキスト資料						
成績評価	単位認定 最終日に作品作成し提出する。 1. 授業内容が理解できているか 2. 作品のオリジナリティー 3. 出席率						
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス ・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	パーマ応用		担当者	学科	美容科	開講期	31年前期
区分	美容専門	実習	単位 (時間)	学年	2年	曜日 時限	木 3
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る						
学習目的	美容師に必要なデザインパーマ技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける						
学習目標	デザインパーマを理解する→カットスタイルに合わせたパーマ技術を施術できる						
授 業 計 画							
回	主 題		授 業 内 容			備 考	
第1回	パーマ技術の応用知識を知る		パーマのバリエーション～ 薬剤選定・スタイルに合わせた技術				
第2回	wig①サロンワンレングスボブ		ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス			ウィッグ①・テキスト	
第3回	wig①サロンワンレングスボブ		パーマをあてる・巻き方よっての仕上がり理解			ウィッグ①・テキスト	
第4回	wig①ラウンドグラデーションボブ		ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス			ウィッグ①・テキスト	
第5回	wig①ラウンドグラデーションボブ		パーマをあてる・巻き方よっての仕上がり理解			ウィッグ①・テキスト	
第6回	wig②ミディアムレイヤーカット		ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス			ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②ミディアムレイヤーカット		パーマをあてる・巻き方よっての仕上がり理解			ウィッグ②・テキスト	
第8回	wig②セイルレイヤーカット		ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス			ウィッグ②・テキスト	
第9回	wig②セイルレイヤーカット		パーマをあてる・巻き方よっての仕上がり理解			ウィッグ②・テキスト	
第10回	wig③2セクションカット		ロッド選定からパネルの引き出し・角度・スライス			ウィッグ③・テキスト	
第11回	wig③2セクションカット		パーマをあてる・巻き方よっての仕上がり理解			ウィッグ③・テキスト	
第12回	wig④マルチセクションカット		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ④・テキスト	
第13回	wig④マルチセクションカット		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ④・テキスト	
第14回	wig⑤作品作成		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ⑤・テキスト	
第15回	wig⑤作品作成		カットスタイル～効果的なパーマ技術を施す			ウィッグ⑤・テキスト	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター						
参考書	①～④のウィッグはカット応用で使用したもの ⑤のウィッグは新しいものを使用する						
成績評価	単位認定 I・IIの作品作成し提出する。 1. 授業内容が理解できているか 2. 作品のオリジナリティー 3. 出席率						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	カラー応用		担当者	学科	美容科	開講期	31年前期
区分	美容専門	実習	単位 単 位 (時間)	学年	2年	曜日 時限	木 4
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る						
学習目的	美容師に必要なデザインカラー技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける						
学習目標	デザインカラーを理解する→カットスタイルに合わせたカラー技術を施術できる						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	カラー技術の応用知識を知る	カラーのバリエーション～薬剤選定・スタイルに合わせた技術					
第2回	wig①サロンワンレングスボブ	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト	
第3回	wig①サロンワンレングスボブ	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定				ウィービング	
第4回	wig①ラウンドグラデーションボブ	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ①・テキスト	
第5回	wig①ラウンドグラデーションボブ	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定				スライシング	
第6回	wig②ミディアムレイヤーカット	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト	
第7回	wig②ミディアムレイヤーカット	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定				バレイヤージュ	
第8回	wig②セიმレイヤーカット	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ②・テキスト	
第9回	wig②セიმレイヤーカット	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定				技法選定・施術	
第10回	wig③2セクションカット	薬剤選定から調合・パネルの引き出し・角度・スライス				ウィッグ③・テキスト	
第11回	wig③2セクションカット	カラーをいれる・スタイルに合わせての技法選定				技法選定・施術	
第12回	wig④マルチセクションカット	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す				ウィッグ④・テキスト	
第13回	wig④マルチセクションカット	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す				技法選定・施術	
第14回	wig⑤作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す				ウィッグ⑤・テキスト	
第15回	wig⑤作品作成	カットスタイル～効果的なカラー技術を施す				技法選定・施術	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター						
参考書	①～④のウィッグはカット応用で使用したもの ⑤のウィッグは新しいものを使用する						
成績評価	単位認定 I・IIの作品作成し提出する。 1. 授業内容が理解できているか 2. 作品のオリジナリティー 3. 出席率						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	美容総合技術		担当者		学科	美容科	開講期	31年後期
区分	美容共通分野	選択必修	単位	2単位	学年	2年	曜日	水・金
	(美容師)		(時間)	60			時限	1・3
授業の概要	国家試験5科目に於ける対策授業							
学習目的	国家試験学科科目の修得							
学習目標	国家試験学科の合格							
授業計画								
回	主題		授業内容				備考	
第1回	美容技術理論①		教科書①を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第2回	美容技術理論②		教科書②を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第3回	美容保健①		教科書(人体)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第4回	美容保健②		教科書(皮膚科学)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第5回	化粧品化学①		教科書(化粧品、化学)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第6回	化粧品化学②		教科書(化粧品、化学)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第7回	衛生管理①		教科書(公衆衛生、環境衛生)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第8回	衛生管理②		教科書(感染症)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第9回	関係法規・制度①		教科書(法制度、衛生行政の概要)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第10回	関係法規・制度②		教科書(美容師法)を中心に復習し、重要ポイントを把握する					
第11回	美容技術理論③		前回迄の授業を踏まえ、確認テストでレベルチェックする					
第12回	美容技術理論④		前回迄の授業を踏まえ、ワークブックでレベルチェックする					
第13回	美容技術理論⑤		過去問題を解き、解答で確認する					
第14回	美容保健③		前回迄の授業を踏まえ、確認テストでレベルチェックする					
第15回	美容保健④		前回迄の授業を踏まえ、ワークブックでレベルチェックする					
第16回	美容保健⑤		過去問題を解き、解答で確認する					
第17回	化粧品化学③		前回迄の授業を踏まえ、確認テストでレベルチェックする					
第18回	化粧品化学④		前回迄の授業を踏まえ、確認テストでレベルチェックする					
第19回	化粧品化学⑤		前回迄の授業を踏まえ、ワークブックでレベルチェックする					
第20回	化粧品化学⑥		過去問題を解き、解答で確認する					
第21回	衛生管理③		前回迄の授業を踏まえ、確認テストでレベルチェックする					
第22回	衛生管理④		前回迄の授業を踏まえ、確認テストでレベルチェックする					
第23回	衛生管理⑤		前回迄の授業を踏まえ、ワークブックでレベルチェックする					
第24回	衛生管理⑥		過去問題を解き、解答で確認する					
第25回	関係法規・制度③		前回迄の授業を踏まえ、確認テストでレベルチェックする					
第26回	関係法規・制度④		前回迄の授業を踏まえ、ワークブックでレベルチェックする					
第27回	関係法規・制度⑤		過去問題を解き、解答で確認する					
第28回	5教科総合演習①		5教科過去問題を解き、解答で確認する					
第29回	5教科総合演習②		5教科過去問題を解き、解答で確認する					
第30回	5教科総合演習③		5教科過去問題を解き、解答で確認する					
教科書	化粧品化学 美容保健 関係法規・制度 衛生管理 美容技術理論							
参考書	ワークブック 過去問題集							
成績評価	単位認定 過去問題のまとめテスト60点以上【筆記模擬試験5課題】(国家試験規定に準じ評価を行う)							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

科目名	就職ガイダンス キャリア基礎力	担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分		単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	月 4
授業の概要	現役美容師の講話を中心に、グループワーク、ディスカッション形式を取り入れた授業						
学習目的	サービス業に従事する者としての心構えを学ぶ。美容業界を知り、適した就職先の選択ができる。						
学習目標	「業界で求められる人材」の考え方を学ぶ。役職よっての具体的な仕事内容・役割・考え方を知る事で業界でのキャリアアップに繋がる。インターンシップの心構えができ、自己の立場と役割、立ち振る舞いが理解できる。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容			備 考		
第1回	「ネットワークサロンについて理解する」「美容業の現状～これから」	ネットワークサロンを知り、インターンシップ・就職先を考える。					
第2回	ネットワークサロン	内容検討			講話・レポート提出		
第3回	ネットワークサロン	内容検討			講話・レポート提出		
第4回	ネットワークサロン	内容検討			講話・レポート提出		
第5回	サロンアシスタントの役割 「仕事内容を理解する」	話を聞く姿勢を養う。サロンアシスタントの具体的な仕事内容・取り組みを講話にて知る。			講話・レポート提出		
第6回	サロンのスタイリスト「スタイリストになるまでの苦労・やりがい」「業界で活躍する為には？」	話を聞く姿勢を養う。売れているスタイリストの方に講話頂く。グループワークを通してさまざまな考え方を知る。			レポート提出 グループワーク		
第7回	サロンオーナー「これからのサロン作り」「必要とされる人材とは」	人材育成、教育制度など「業界で活躍できる人材」になる為には			講話 レポート提出		
第8回	ネットワークサロン	内容検討			講話 レポート提出		
第9回	ネットワークサロン	内容検討			講話 レポート提出		
第10回	ネットワークサロン	内容検討			講話 レポート提出		
第11回	ネットワークサロン	内容検討			講話 レポート提出		
第12回	学内合同企業説明会	サロン、企業様を知り、就職先を考える機会にする					
第13回	学内企業説明会 振り返り	自分が話を聞かせて頂いたサロン様情報を発表し全体で共有する。情報交換で複数のサロン様を知る。			グループワーク		
第14回	模擬面接	就職面接で気を付ける事、自分を魅力的に見せる為には			面接練習		
第15回	ネットワークサロン（面接ブース） 就職試験の面接で気を付ける事	就職試験に向けて実践的な「面接」の緊張感を知り、自己表現、表情、言葉遣い、社会人としてのマナーを学ぶ。サロン様のアドバイスを受けて自己改善に努める。			面接シートにて評価 サロン様よりアドバイスを頂く		
教科書							
準備物	筆記用具・メモ・レポート用シート						
成績評価	単位認定 60 点以上		授業レポート提出 計10回 各10点満点				
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない ※文法に配慮した文章が書ける。		※レポートの提出期限を守る（提出期限が過ぎた場合は評価対象外とする） ※しっかり話を聞き、文章に落とし込める能力を身に付ける。				
オフィス・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	キャリアデザイン		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	キャリア基礎力	選択必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	月 3
授業の概要	就職活動の為の、キャリアガイダンス 1. 自己分析 2. プレゼンテーション能力、コミュニケーション能力を身に付ける 3. 仕事を知る							
学習目的	基本的なマナー、就職活動に必要なノウハウを身に付ける。							
学習目標	1. 自分を知る事で「やりたい事」「できる事」「将来像」を明確にしていく。 2. プレゼンテーション能力を身に付ける。 3. 社会人として必要なコミュニケーション能力を身に付ける							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	キャリアサポート「自己分析」		「過去の振り返り」「自己理解」					
第2回	「幸せの心理学セミナー」		「人生の目的」「幸せの領域」「マズローの5段階欲求説」			講話 グループワーク		
第3回	「幸せの心理学セミナー」		「人間関係」「対人関係」「脳の構造」「コミュニケーション」			講話 グループワーク		
第4回	「幸せの心理学セミナー」		「エゴグラム式パーソナル分析」			講話 レポート提出		
第5回	キャリアサポート「他己分析」		「クラスメイトを知る」「他己理解」					
第6回	キャリアサポート「応募書類について」		履歴書の書き方、自己PR作成					
第7回	キャリアサポート「SMBC講話」		生活設計についての講話			講話		
第8回	「ニュースタッフセミナー」		ビジネスマナー研修 「接客の基本」			復習テスト		
第9回	「ニュースタッフセミナー」		ビジネスマナー研修 「敬語、クッション言葉」			復習テスト		
第10回	「ニュースタッフセミナー」		ビジネスマナー研修 「電話対応、ロールプレイング」			復習テスト		
第11回	キャリアサポート「合同企業説明会について」		企業説明会所作、心構え					
第12回	学内合同企業説明会							
第13回	「ニュースタッフセミナー」		ビジネスマナー研修 「電話の取次ぎ、ロールプレイング」			復習テスト		
第14回	「ニュースタッフセミナー」		ビジネスマナー研修 「席次、名刺交換」			復習テスト		
第15回	期末 筆記試験		小論文700～1000文字「キャリアデザインの授業で身に付いたこと～就職して成し遂げたいこと」					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上		筆記試験 小論文40% (40点満点) 復習テスト・レポート提出60% (各10点満点×6回)					
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない			※レポートの提出期限を守る (提出期限が過ぎた場合は評価対象外とする)				
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	基本IT		担当者		学科	美容科	開講期	
区分	ビジネス基礎力	選択科目	単位 (時間)	1 単位 30	学年		曜日	時限
授業の概要	① WindowsとWord2007の基本操作について ② Wordの機能についての理解と利用 ③ Excelの基本的な操作方法や表の作成・編集 ④ 関数についての理解とグラフの作成 ⑤ 文書校正機能やワークシートの操作について							
学習目的	Windows、Word・Excelの基礎を学び、文書や表などを作成・編集できるようにする。機能について理解をし、活用できるようにする。必要な式の作成、考え方を学び、適切な式を入力できるようにする。							
学習目標	Wordの基礎や機能を理解させる。Excelの基礎をしっかりと学び、機能や関数を活用できるようにする。また、P検3級の取得を目指し、合格できるようにする。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	授業のオリエンテーション		授業に関する説明と注意事項、アンケート 課題提出用メールアドレスの取得とWindowsの基礎について					
第2回	授業の準備とWordの基礎		課題提出用メールアドレスの取得（欠席者と未取得者） Wordの画面の名称と機能					
第3回	Wordの基本		漢字の変換・文節、読みのわからない漢字の挿入方法 ビジネス文書の構成について					
第4回	ページと書式の設定		ページ設定と書式設定					
第5回	行・段落の設定		段落番号・行間・インデントなどの設定					
第6回	表とヘッダー・フッター		表の挿入・編集とヘッダーフッターの設定					
第7回	オブジェクトの挿入・編集		ワードアートや図形、図やテキストボックスに対する操作					
第8回	Word総合問題		P検3級Word実技問題に順守した問題					
第9回	Excelの基礎		画面の名称や働き、演算子やオートフィル機能について					
第10回	Excelの基本		コピー・移動、関数について（合計を求める）					
第11回	オートSUMボタンを利用した関数		平均、最大・最小値の求め方と表の書式設定。 オートSUMボタンでの設定方法					
第12回	絶対参照と関数の利用		相対参照と絶対参照について 関数の挿入ボタンを利用した関数の入力（セルの個数）					
第13回	グラフの作成と編集		グラフの挿入とグラフの書式設定					
第14回	ページ設定とデータベース機能		ページ設定と表示モードの変更、文書校正について データの並べ替え					
第15回	ワークシートの操作と総合問題		ワークシートに関する設定と P検3級に遵守したExcelの総合問題					
教科書	パソコン検定3級テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 実技試験 60点以上							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	プレゼンテーション		担当者		学科	美容科	開講期	
区分	ビジネス基礎力	選択科目	単位	1 単位	学年		曜日	
			(時間)	30		時限		
授業の概要	プレゼンテーション能力の養成・向上を目指して、基本的な知識を修得し、さまざまな場面で自分の考えをしっかりと相手に伝える積極的な意思表示ができるようになる。							
学習目的	プレゼンテーションを行なうために必要な基本的な事柄を学ぶ。 プレゼンテーションの意義・目的、内容、進め方、ツールの活用など、基礎を学ぶと同時に、話し方などの口頭表現、身体表現を中心とした演習を行なう。							
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 論理的に物事を考えられるようになること 2. 限られた時間の中で、自分の考えが効果的に述べられるようになること 3. 聞き手に感動を与えるような話しかたができるようになること 							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	プレゼンテーションとは		プレゼンテーションの種類と定義について					
第2回	コミュニケーションとプレゼンテーション		コミュニケーションとプレゼンテーションの違いについて					
第3回	プレゼンテーションの目的		紹介のプレゼンテーション					
第4回	プレゼンテーション準備と流れ1		聞き手の分析や目的の明確化					
第5回	プレゼンテーション準備と流れ2		プラン作成やツールについて					
第6回	聴衆に好感を持たれる話し方の基本		聴衆に好感を持たれる話し方の基本を学ぶ					
第7回	バーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法					
第8回	ノンバーバル表現		聴衆に好感を持たれる態度、演出法					
第9回	身近なプレゼンテーション		スピーチ・フリートーク					
第10回	パブリックスピーキング1		インタビューをしてみよう					
第11回	パブリックスピーキング2		会議と司会をしてみよう					
第12回	パブリックスピーキング3		学校生活について話してみよう					
第13回	説明と説得のプレゼンテーション		グループワーク					
第14回	発表に向けてのリハーサル							
第15回	プレゼンテーション発表と振り返り							
教科書	テキストは毎回配布							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 プレゼンテーション課題提出							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス文章力	担当者		学科	美容科	開講期	
区分	選択科目	単位		学年		曜日	
	ビジネス基礎力	(時間)			時限		
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ 講義形式・グループワーク・調べ学習・発表を授業で取り入れる ・ 必要に応じて視聴覚教材使用 ・ 美しい字を書く事を授業内で実施 ・ 適宜課題提出 						
学習目的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 社会人として必要なビジネス文書のマナーとルールを活用して社会生活を送る ・ 言葉の重要性と正しい使い方を知り、活用できる 						
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常的に美しい字を書けるようになる ・ ビジネスで必要とされる漢字が書けるようになる ・ ビジネスで必要とされる文章が書けるようになる 						
授業計画							
回	主題	授業内容				備考	
第1回	学習内容を理解して最終目標を立てる 学習の仕方を知り活用する	<ul style="list-style-type: none"> ・ シラバスを基に学習内容を理解して自己を振り返り得手不得手を知る ・ シラバスを基に学習到達目標を理解して自己目標を立てる 					
第2回	TPOに合わせた言葉選び	桃尻語訳を参考に言葉選びの重要性を知り、自身に起こった出来事を文章にする					
第3回	言葉の正しい使い方	TPOに合わせた言葉の使い方を知り活用できるようになる					
第4回	文章の創造を楽しむ	キーワードの文節を基に、自身で文章を作成するポイントを活用できるようになる					
第5回	文章を読み取る事を楽しむ	文章の行間を読む楽しさを感じる事ができる					
第6回	要約をする-1	限られた文字数で要約をして、相手に伝わる文章を作成するポイントを活用できるようになる					
第7回	要約をする-2	要約のポイントを活用して印象に残った本・記事・作品などを要約して発表する					
第8回	改まった手紙を書く	時候の挨拶・前文・末文を使用して手紙を書く					
第9回	社外文書の書き方とルールを知る	社外文書の書き方とルールを知り、実際に書けるようになる					
第10回	社内文書の書き方とルールを知る	社内文書の書き方とルールを知り、実際に書けるようになる					
第11回	電子媒体のビジネス文書ファックスの送信	電子媒体のビジネス文書のルールとマナーを活用することができる ファックスを送信するときのルールを知り、実際に活用することができる					
第12回	郵便物のルール	郵便物のルールを知り活用することができる					
第13回	お礼状を作成する-1	学習した知識を活用してお礼状を実際に作成して郵送する スチューデントサロン・就職活動用					
第14回	お礼状を作成する-2	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る-1					
第15回	お礼状を作成する-3	学習した知識を活用して卒業した高校へお礼状を送る-2					
教科書							
参考書							
成績評価	・期末テスト 70% ・課題提出 30%				単位認定 60点以上		
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	ビジネス英語 (美容)		担当者	学科	美容科	開講期
区分	ビジネス基礎力	選択科目	単位	学年		曜日
			(時間)			時限
授業の概要	本講義では、おもにサロンでの応対についていろいろな場面での会話を学んでいく。授業は簡単な会話を中心とし、ビューティ分野に必要な表現、用語を併せて学ぶ。					
学習目的	サロンに外国人を、迎えたときばかりでなく多くの場面で、国際的なコミュニケーションが必要になっている。美容師の活躍する場所も今後日本ばかりではなく、海外のサロンで働いたり、留学したりと多くのステージが考えられる。新しい時代にはばたくために、国際語としての英語を自分のものにする。					
学習目標	単語や文法を覚えるだけでなく、英語でコミュニケーションできるようになるのが目標。中学1、2年で学ぶ内容をカバーしながら、英語で基本的なやりとりができる力を身につける。サロンに外国人を迎えたとき、最低限の意思疎通を図ることができるようにする。さらに海外旅行、留学、ホームステイなど、今後活躍するステージを広げていくために、自身で、会話の勉強を続けていくためのきっかけとする。					
授業計画						
回	主題	授業内容				備考
第1回	自己紹介とあいさつ(1)	あらたまった場面でなく、親しみをこめてあいさつを交わし、会話のきっかけをつくっていく。名前や職業を言う、名前や出身地を尋ねるなど。				
第2回	あいさつ(2)	はじめて会ったとき、友人とのあいさつ、人や物を紹介する。友人と別れるとき。				
第3回	あいさつ(3)	人や物の状態・特徴をたずねる。元気?だいじょうぶ?などとたずねられる				
第4回	予約のないお客様を迎える	受付、予約の確認、待ち時間の確認など。曜日や日づけ、時間などをたずねたり、答えたりできる。				
第5回	電話予約を受ける	電話で、簡単な用件をたずねたり、伝えたりできる。曜日や日づけ、時間などをたずねたり、答えたりできる。道順や行き方をたずねたり、答えたりできる。品物や値段をたずねたり、答えたりできる				
第6回	予約のお客様を迎える	あいさつ、予約のチェック、バッグ・コートをあずかる。おもてなし。相手の状況を見て声をかけることができる。				
第7回	料金をいただく	お礼をしたり、苦情を言ったりすることができる				
第8回	ヘアスタイルの注文をうかがう(カット1)	欲しいものやしたいことを言うことができる。アドバイスを求めたり、与えたりすることができる。提案したり、提案を求めたりすることができる。				
第9回	ヘアスタイルの注文をうかがう(カット2)					
第10回	シャンプー	シャンプーに関する一連の動作、基本表現。髪に関する言葉。				
第11回	スタイルの注文をうかがう(パーマ)	スタイルブック、写真などから必要な情報を収集し、カウンセリングができる。				
第12回	スタイルの注文をうかがう(部分パーマ)					
第13回	カラーリング(全体を染める)	ファッションについて意見をたずねたり、述べたりできる。細やかなカウンセリング。基本の表現と美容の用語を学ぶ。				
第14回	カラーリング(部分的に染める)					
第15回	まとめ	シミュレーションによる会話練習。用語、表現の総復習				
教科書	テキストは毎回配布					
参考書	美容通信教科書(外国語)					
成績評価	単位認定 各回小テスト15点×15、期末試験25点					
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない					
オフィス・アワー	随時					

平成30年度 シラバス

科目名	イベントプロデュース		担当者		学科	美容科	開講期	
区分	ビジネス基礎力	選択必修	単位	1 単位	学年		曜日	
			(時間)	30		時限		
授業の概要	具体的なイベント活動の企画・運営を通して企画力・実行力・協調性など社会人基礎力を養う。							
学習目的	イベントを企画する段階から時間軸のプロセスを経て、「最終的な目的達成」のために、最高のパフォーマンスを発揮できるよう、 イベントのノウハウや、プランニング方法等を、実際のイベント運営を通して 具体的に学び、これからのイベントの方向性を探っていく。							
学習目標	イベントの企画から、実際にイベント運営を体験し制作ノウハウを体得すること。 自分達の考えたイベントが来場者にどう評価されたかを調査・分析すること。 グループワークで各自が役割に対する責務を果たし、チーム全体の力を発揮すること。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ヘアメイクライブ モデルオーディションに向けて		自分の魅力を知り、アピール力を身に付ける					
第2回	ヘアメイクライブに向けてイベントの意義を知る		モデル出演者、裏方スタッフの役割確認					
第3回	プランニングと運営について		プランニングの重要性と運営について学ぶ					
第4回	イベント企画会議（1）学園祭		実際の行事の企画会議を実施する					
第5回	イベント運営のグループワーク 学園祭		ヘアショー、模擬店それぞれの役割分担効果的な運営を学ぶ					
第6回	イベント運営のシミュレーション 学園祭		ステージワーク、音楽、ショー構成を決める					
第7回								
第8回								
第9回	イベントプロデュースの分析と展望		ほりかわ祭について					
第10回	イベント企画会議(2)		実際の行事の企画会議を実施する。(就職egg)					
第11回	イベント運営のグループワーク(2)		イベント運営とグループワーク(就職egg)					
第12回	具体的なイベント運営のシミュレーション		運営シュミレーション(就職egg)					
第13回	イベント運営の実際(1)		就職eggについて					
第14回	イベントプロデュースの分析と展望		就職eggについて					
第15回	まとめ							
教科書	毎回テキスト配布							
参考書								
成績評価	単位認定 各イベントの参加状況・運営・実施状況にて総合判断							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行わない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ボランティア活動		担当者		学科	美容科	開講期	
区分	ビジネス基礎力	選択必修	単位 (時間)	1単位 30	学年		曜日	
							時限	
授業の概要	ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を講義する。ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。							
学習目的	ボランティアの理念、目的、意義、現状や問題点を学習した後に、学生の主体的な計画の下にボランティア活動を体験する。ボランティア活動はもうひとつの信頼を育むコミュニケーションであることを学ぶ							
学習目標	ボランティアの理念を説明できる。ボランティア活動の基本原則を説明できる。実際のボランティア活動を説明できる。ボランティア活動参加の意義を説明できる。ボランティア活動に参加する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	ボランティアの理念		(無償性、自主性、公益性)					
第2回	ボランティア活動の基本原則		自分からすすんで行動する—ともに支え合い—学び合う 「見返りを求めないよりよい社会をつくるを学ぶ					
第3回	実際のボランティア活動		実際のボランティア活動について話し合う					
第4回	ボランティア参加の意義		ボランティア活動は、他人同士がいろいろな場でふれあい、つながりを持ち、お互いに学びあって生きる喜びを確かめ合う機会を与えるものであることを確認する					
第5回	自分にあったボランティア活動は?		自分にあったボランティア活動について考察する。					
第6回～ 第14回	ボランティア活動		ボランティア活動に参加					
第15回	振り返り		レポート作成					
教科書	毎回テキスト配布							
参考書								
成績評価	単位認定 レポート提出							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ヘアケアマイスター		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	ビジネス基礎力 (美容師)	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	火 2
授業の概要	美容師として必須な現状説明、技術説明、お手入れ説明の責任を果たす為、毛髪科学、カウンセリング、ヘアケア剤の知識を学ぶ							
学習目的	ヘアケアの知識が豊富でお客様の毛髪診断が正しくでき、それに対する処置、アドバイスが的確にできる能力を身に付ける							
学習目標	ヘアケアマイスター検定（プライマリー）資格取得							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	毛髪の構造と働き	メラニン色素について、髪色を決めるメラニン色素、キューティクルの構造と役割、細胞膜複合体の構造と役割						
第2回	毛髪の構造と働き	コルテックスの構造と役割、間充物質の働き、メデュラの構造と役割						
第3回	タンパク質とは	毛髪は何かからできている？						
第4回	毛髪の4つの結合	毛髪の4つの結合、PHとは？						
第5回	毛髪のダメージの原因、ダメージプロセス	毛髪のダメージは表面からダメージのケアは毛髪内部から						
第6回	毛髪のカウンセリングに対して	髪質を見極める、お客様のライフスタイルとスタイリングを知る						
第7回	お客様の悩みを聞く&求める要望	お客様から信用を得てコミュニケーションをしやすくする						
第8回	現状の毛髪の状態を見極める	問診、視診、触診を行う						
第9回	髪質を見極める・クセ毛について	髪質の特徴と性質、クセ毛の特徴、種類						
第10回	髪質と施術時間の関係・毛髪のダメージレベル	ダメージレベルの見分け方、キューティクルの重なり度合い、ヘアカラー毛のダメージレベルの見分け方						
第11回	技術プロセスにおける前、後処理の目的	前処理の目的、後処理の目的						
第12回	毛髪の健康な状態とは・毛髪の健康診断、毛髪のデータ	毛髪の物理的・化学的性質						
第13回	界面活性剤について・シャンプー剤の成分と働き、効果	界面活性剤とは、シャンプーの働き、洗浄のメカニズム						
第14回	トリートメント剤、スタイリング剤の成分と働き、効果	構成成分、配合目的、一般的な原料名						
第15回	ホームケア アドバイス	毛髪の状態に合わせたヘアケア剤の選択、スタイリング、お手入れアドバイス						
教科書	ヘアケアマイスターブック改訂版							
成績評価	検定受験 ヘアケアマイスター（プライマリー）資格取得							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業（ヘアデザイン専攻）①		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	ヘアデザイン分野 ビジネス基礎力	選択	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年	曜日 時限	火 3.4
授業の概要	スタイリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
学習目的	美容師に必要なヘッドスパ、ハンドマッサージ技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける							
学習目標	I M A I メソッド（スパシャンプー、スパベータック）ディプロマ取得							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	スパシャンプー、ハンドマッサージ		頭皮を傷めないシャンプー技法			I M A I メソッド シャンプーコース		
第2回	スパシャンプー、ハンドマッサージ		頭皮のクレンジングマッサージ					
第3回	スパシャンプー、ハンドマッサージ		フィッティング法を学び血液循環を促す					
第4回	スパベータック、ハンドマッサージ		呼吸に沿ったリズムへのマッサージ効果と肌に密着できるスキんシップ技術を学ぶ			I M A I メソッド スパベータックコース		
第5回	スパベータック、ハンドマッサージ		マッサージ効果のでる体幹、腕、手のひら、指の使い方					
第6回	スパベータック、ハンドマッサージ		頭皮診断基礎					
第7回	スパベータック、ハンドマッサージ		スカルプマッサージ技法（基礎）					
第8回	スパベータック、ハンドマッサージ		クレンジングの揉み出し技法					
第9回	スパベータック、ハンドマッサージ		緊張と緩和的技法					
第10回	スパベータック、ハンドマッサージ		ブラッシングの基礎					
第11回	スパベータック、ハンドマッサージ		振り返り（まとめ）					
第12回	スパベータック、ハンドマッサージ		ディプロマ試験					
第13回	カラー理論		ヘアカラーに必要な薬剤知識・技術・色彩学					
第14回	wig①ファッションカラー実習		パネル・スライス・ブロッキング・薬剤塗布・薬剤調合			トレーニングクリーム使用		
第15回	wig①ファッションカラー実習		発色・塗布むらチェック			トレーニングクリーム使用		
教科書								
参考書	JHCAヘアカラー入門 改訂版							
成績評価	単位認定 I M A I メソッド（スパシャンプーコース）（スパベータックコース）ディプロマ取得							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業（ヘアデザイン専攻）②		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	ヘアデザイン分野	選択	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年	曜日	火
	ビジネス基礎力						時限	3.4
授業の概要	カラーリストとしてサロンワークに直結した内容を学び、美容師としての奥深さを知る							
学習目的	美容師に必要なカラー技術を習得し就職後も現場で生きる技術を身につける							
学習目標	カラー理論～デザインカラーのサロンで必要なカラー技術を理解する→最終日には作品提出を行う							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第16回	wig①ファッションカラー実習		パネル・スライス・ブロッキング・薬剤塗布・薬剤調合			14/00・6%使用		
第17回	wig①ファッションカラー実習		仕上がりチェック・タイム計測			14/00・6%使用		
第18回	wig①グレイカラー実習		パネル・スライス・ブロッキング・薬剤塗布・薬剤調合			トレーニング クリーム使用		
第19回	wig①グレイカラー実習		仕上がりチェック・タイム計測			薬剤使用		
第20回	wig②ブリーチ実習		発色・塗布むらチェック			ブリーチ・ホイル・ 6%使用		
第21回	wig②ブリーチ実習		仕上がりチェック・タイム計測			ブリーチ・ホイル・ 6%使用		
第22回	ホイルワーク		ウィービング・スライシング デザイン①			ウィッグ③		
第23回	ホイルワーク		ウィービング・スライシング デザイン②			ウィッグ③		
第24回	wig③オンカラー実習		ブリーチオンカラーを学ぶ・発色チェック			カラー剤使用		
第25回	wig③オンカラー実習		ブリーチオンカラーを学ぶ・発色チェック			カラー剤使用		
第26回	作品制作イメージ創り		展開図～デザインデッサン			ダイアグラムシート		
第27回	wig⑨作品作成		履修内容を活かし自由に作品作成			自由に薬剤使用		
第28回	wig⑨作品作成		履修内容を活かし自由に作品作成			自由に薬剤使用		
第29回	wig⑨作品作成		履修内容を活かし自由に作品作成			自由に薬剤使用		
第30回	wig⑨作品作成		履修内容を活かし自由に作品作成			自由に薬剤使用		
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター							
参考書	JHCAヘアカラー入門 改訂版							
成績評価	単位認定 作品提出							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業（ヘアデザイン専攻）③	担当者		学科	開講期	31年前期
区分	ヘアデザイン分野	単位	2単位	学年	曜日	火
	ビジネス基礎力	(時間)	60		時限	3.4
授業の概要	直接スタイリストの方からカットを指導して頂き、現場の雰囲気の中で専門的に技術・理論を学習し作品創りのノウハウを知る。					
学習目的	作品創りを通して創造性を高めデザイン力を身に付ける。					
学習目標	仕上げた作品をコンテストに出展し入賞をめざす。					
授 業 計 画						
回	主 題	授 業 内 容			備 考	
第1回	カット展開図	スタイルから読み解きダイアグラム作成			ウィッグ①	
第2回	2セクションカット	応用のカット技法を学ぶ				
第3回	マルチセクションカット	応用のカット技法を学ぶ				
第4回	毛量調節	シザーズによる毛量調整、インナーセニング				
第5回	仕上げブロー法	スタイルに応じたブローテクニック、仕上げ方				
第6回	スタイリング法	スタイリング剤の選定、スタイリング技術				
第7回	コンテストスタイル①	コンテストスタイル①デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ①	
第8回	コンテストスタイル	コンテストスタイル①デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ①	
第9回	コンテストスタイル	コンテストスタイル①デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ①	
第10回	コンテストスタイル	コンテストスタイル①デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ①	
第11回	コンテストスタイル	コンテストスタイル①デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ①	
第12回	コンテストスタイル	コンテストスタイル①デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ①	
第13回	コンテストスタイル	①作品展示・コンテスト・作品撮り			コンテストに作品出展	
第14回	コンテストスタイル②	コンテストスタイル②デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ②	
第15回	コンテストスタイル	コンテストスタイル②デザインウィッグ作成			コンテスト用ウィッグ②	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター					
参考書	コンテスト入賞作品 参考資料					
成績評価	単位認定 デザインウィッグ作品提出（2台）					
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない					
オフィス・アワー	随時					

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業（ヘアデザイン専攻）④	担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	ヘアデザイン分野 ビジネス基礎力	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年	曜日	火
						時限	3.4
授業の概要	直接スタイリストの方からカラーを指導して頂き、現場の雰囲気の中で専門的に技術・理論を学習し作品創りのノウハウを知る。						
学習目的	作品創りを通して創造性を高めデザイン力を身に付ける。						
学習目標	仕上げた作品をコンテストに出展し入賞をめざす。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第16回	コンテストスタイル②	コンテストスタイル②デザインウィッグ作成				コンテスト用ウィッグ②	
第17回	コンテストスタイル	コンテストスタイル②デザインウィッグ作成				コンテスト用ウィッグ②	
第18回	コンテストスタイル	コンテストスタイル②デザインウィッグ作成				コンテスト用ウィッグ②	
第19回	コンテストスタイル	コンテストスタイル②デザインウィッグ作成				コンテスト用ウィッグ②	
第20回	コンテストスタイル	②作品展示・コンテスト・作品撮り				コンテストに作品出展	
第21回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	カラーリスト検定について、刷毛の使い方と塗布量について			台座ワンレングス①、トレーニング クリーム、カラー道具一式	
第22回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	バージン毛のワンメイク（トレーニングクリーム）			台座ワンレングス①、トレーニング クリーム、カラー道具一式	
第23回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	バージン毛のワンメイク（トレーニングクリーム）			台座ワンレングス①、トレーニング クリーム、カラー道具一式	
第24回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	バージン毛のワンメイク（14LVカラー剤）			台座ワンレングス②、14LVカラー 剤、6%、カラー道具一式	
第25回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	バージン毛のワンメイク（14LVカラー剤）			台座ワンレングス②、14LVカラー 剤、6%、カラー道具一式	
第26回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	バージン毛のワンメイク14LVウィッグにリタッチでマニキュア塗布			台座ワンレングス②、ダークブラウ ンマニキュア、カラー道具一式	
第27回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	ワンメイク タイムトライアル			台座ワンレングス①②、トレーニン グクリーム、カラー道具一式	
第28回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	ワンメイク タイムトライアル			台座ワンレングス①②、トレーニン グクリーム、カラー道具一式	
第29回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	ワンメイク タイムトライアル			台座ワンレングス①、トレーニング クリーム、カラー道具一式	
第30回	JHCAヘアカラーリスト検定 グルスター取得に向けて	シン	実技作品チェック、模擬試験			台座ワンレングス①、トレーニング クリーム、カラー道具一式	
教科書	美容技術理論 1 美容実習 1 日本理容美容教育センター						
参考書	JHCAヘアカラー入門 改訂版						
成績評価	単位認定 出席80%以上が前提となる						
履修の ポイント	出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス ・アワー	随時						

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業(メイク・ブライダル専攻)①		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	メイクブライダル分野 ビジネス基礎力	選択	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年	曜日 時限	火 3・4
授業の概要	メイクに強いスタイリストになる為、イメージメイク、ショーメイク、撮影用メイクを学ぶ							
学習目的	シーンに合わせたメイクを施せる事でクリエイティブな表現力を身に付ける							
学習目標	イメージを形にできる能力を身に付けコンテスト、ヘアショーの作品制作に活かす							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	課題作成 (カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、)						
第2回	着付け (ドレス)	ドレスフィッティング						
第3回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	課題作成 (カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、)						
第4回	着付け (浴衣)	浴衣着付けのポイント						
第5回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	課題作成 (カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、)						
第6回	着付け (留袖)	肌襦袢、長襦袢の着付け						
第7回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	課題作成 (カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、)						
第8回	着付け (留袖)	着物の着付け						
第9回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	課題作成 (カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、)						
第10回	着付け (留袖)	留袖着付け チェックテスト						
第11回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	課題作成 (カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、)						
第12回	着付け (振袖)	肌襦袢、長襦袢の着付け						
第13回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	課題作成 (カールアップスタイル、抱き合わせ、編み込み、)						
第14回	着付け (振袖)	着物の着付け						
第15回	スタイル写真を見てアップスタイルを作成することができる	スタイル作成 チェックテスト						
教科書								
参考書	美容実習2 美容技術理論2							
成績評価	単位認定							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業(メイク・ブライダル専攻)②		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	メイクブライダル分野 ビジネス基礎力	選択	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年	曜日 時限	火 3・4
授業の概要	メイクに強いスタイリストになる為、イメージメイク、ショーメイク、撮影用メイクを学ぶ							
学習的学習目標	シーンに合わせたメイクを施せる事でクリエイティブな表現力を身に付ける							
学習目標	イメージを形にできる能力を身に付けコンテスト、ヘアショーの作品制作に活かす							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第16回	着付け(振袖)	着物の着付け						
第17回	着付け(振袖)	帯結び(文庫系)						
第18回	着付け(振袖)	帯結び(文庫系)						
第19回	着付け(振袖)	振袖着付け チェックテスト						
第20回	着付け(振袖)	振袖着付け チェックテスト						
第21回	3級検定復習	クレンジング～ファンデーション					2級検定対策 JMA講師	
第22回	3級検定復習	コンシーラー～ハイライト、ローライト						
第23回	アイブロウ相モデル練習	それぞれに合ったアイブロウの描き方相のモデル練習						
第24回	アイメイク相モデル練習	それぞれに合ったアイメイクの相モデル練習						
第25回	リップ相モデル練習	それぞれに合ったリップのつけ方練習						
第26回	チーク相モデル練習	チークを入れてフルメイク完成相モデル練習						
第27回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2級検定対策						
第28回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2級検定対策						
第29回	スキンケア～フルメイク(タイムアップ)	2級検定対策						
第30回	2級検定試験							
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 JMA 2級検定資格取得を目指す							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業(メイク・ブライダル専攻) ③		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	メイクブライダル分野	選択	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年	曜日	火
	ビジネス基礎力						時限	3.4
授業の概要	メイクに強いスタイリストになる為、イメージメイク、ショーメイク、撮影用メイクを学ぶ							
学習目的	シーンに合わせたメイクを施せる事でクリエイティブな表現力を身に付ける							
学習目標	イメージを形にできる能力を身に付けコンテスト、ヘアショーの作品制作に活かす							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	ベーシックセットリストコース		コーム、ブラシの使い方、毛束の束ね方、ゴムの結び方					
第2回	ベーシックセットリストコース		逆毛の立て方、シニヨンの作り方、ローブ編み					
第3回	ベーシックセットリストコース		編み込み、カール、ウエーブスタイル作成					
第4回	ベーシックセットリストコース		編み込み、カール、ウエーブスタイル作成					
第5回	ベーシックセットリストコース		編み込み、カール、ウエーブスタイル作成					
第6回	ベーシックセットリストコース		スタイルコンテスト					
第7回	ユーカリフォトコン	作品制作	スタイルイメージ作成 (デッサン)					
第8回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
第9回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
第10回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
第11回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
第12回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
第13回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
第14回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
第15回	ユーカリフォトコン	作品制作	作品作成					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 新井会ベーシックセットリストディプロマ取得・フォトコンテスト作品作成							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	専攻授業(メイク・ブライダル専攻)④		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	メイクブライダル分野 ビジネス基礎力	選択	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年	開講期	31年前期
							曜日	火
							時限	3,4
授業の概要	メイクに強いスタイリストになる為、イメージメイク、ショーメイク、撮影用メイクを学ぶ							
学習目的	シーンに合わせたメイクを施せる事でクリエイティブな表現力を身に付ける							
学習目標	イメージを形にできる能力を身に付けコンテスト、ヘアショーの作品制作に活かす							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第16回	ユーカリフォトコン 作品制作		作品撮影					
第17回	似合わせメイク・イメージメイク		顔のプロポーション					
第18回	似合わせメイク・イメージメイク		顔面の明暗、ベース、ファンデーション			ベースメイク		
第19回	似合わせメイク・イメージメイク		ファンデーションの塗り方、コンシーラー、フェイスパウダー					
第20回	似合わせメイク・イメージメイク		アイシャドウ、アイライン			アイメイク		
第21回	似合わせメイク・イメージメイク		アイラッシュカーラー、マスカラ					
第22回	似合わせメイク・イメージメイク		眉のプロポーション、アイブロウトリミング			アイブロウ		
第23回	似合わせメイク・イメージメイク		アイブロウの描き方					
第24回	似合わせメイク・イメージメイク		基本の描き方、ハイライトカラー			チーク、リップ		
第25回	似合わせメイク・イメージメイク		年代別パーソナルメイクアップ(20代)			似合わせメイク		
第26回	似合わせメイク・イメージメイク		年代別パーソナルメイクアップ(30代)					
第27回	似合わせメイク・イメージメイク		年代別パーソナルメイクアップ(40代)					
第28回	似合わせメイク・イメージメイク		年代別パーソナルメイクアップ(50代)					
第29回	似合わせメイク・イメージメイク		年代別パーソナルメイクアップ(60代)					
第30回	似合わせメイク・イメージメイク		年代別パーソナルメイクアップ(70代)(80代)					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 パーソナルに対応できる似合わせメイク、イメージに合ったメイクが施せる							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	カラーコーディネート I		担当者		学科	美容	開講期	30年後期
区分	ビジネス基礎力 講義	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	水 1
授業の概要	授業は座学を中心とする。 理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。 また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
学習目的	色の持つ、文化的・感覚的な力を理解し、 メイク・ネイル・トータルコーディネート等の実践に生かせる知識を習得する。							
学習目標	パーソナルカラー検定3級合格（2月受験）							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	色彩学とは	導入						
第2回	四季の自然を表わす色	春／夏／秋／冬に関わる色について						
第3回	日本の色の歴史	特徴的な伝統色						
第4回	色と生活	周りを取り巻く様々な色、衣食住						
第5回	色の種類	赤・橙・黄・緑・青・紫・白黒・グレー系統						
第6回	色の仕組み	物体色と光源色、無彩色と有彩色						
第7回	CUS表色系	カラーアンダートーンシステム						
第8回	色の三属性と対比現象	明度・彩度・色相						
第9回	色の感情効果	明度・彩度・色相に関する心理効果						
第10回	cus配色効果	アンダートーンとは						
第11回	ファッション概論	基本的な配色テクニック						
第12回	ブライダルと色彩	ウエディングと配色調和						
第13回	パーソナルカラー	肌色のしくみ						
第14回	パーソナルカラーの特徴	人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー						
第15回	検定対策	パーソナルカラー3級検定試験対策						
教科書	パーソナルカラー検定3級公式テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定	60	点以上	期末テスト得点70%+小テスト5回分得点30% ※内容で一部変更する場合があります。 パーソナルカラー検定3級資格取得				
履修の ポイント	出席率80%以上（原則として補講は行わない）							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	カラーコーディネートⅡ		担当者		学科	美容	開講期	31年前期
区分	ビジネス基礎力 講義	必修	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	水 2
授業の概要	授業は座学を中心とする。理解を確認するために、適宜チェックテストを行い、知識を確実なものとするようにする。また、理解しやすいよう、適宜視覚教材を利用する。							
学習目的	色の持つ、文化的・感覚的な力を理解し、メイク・ネイル・トータルコーディネート等の実践に生かせる知識を習得する。							
学習目標	パーソナルカラリスト検定2級合格							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	色彩と文化 染料・染色と顔料		天然染料・日本の染料、顔料、合成染料					
第2回	ヨーロッパの色の歴史		古代ギリシャ、ローマ、中世、ルネッサンス、19世紀、20世紀					
第3回	色彩理論 混色		減法混色、加法混色、中間混色、生活の中の混色					
第4回	照明と色		光源の種類と用途、光色と演色性					
第5回	色の知覚効果		光、面積、対比による色の見え方					
第6回	基本的な配色テクニック		色相、色調配色 配色の構成					
第7回	CUS表色系における配色調和とアンダートーン		色調の変化とアンダートーン					
第8回	ファッション概論		トータルコーディネーションの必要性					
第9回	ファッションとイメージワード		ファッションとイメージワード					
第10回	ディスプレイと色彩		ディスプレイの基準					
第11回	インテリアと色彩		インテリアと色彩					
第12回	パーソナルカラーとスタイリング		パステルサマー、ブリリアントウインター、ブライトスプリング、ディープオータムのスタイリング					
第13回	ブライダルと色彩		パステルサマー、ブリリアントウインター、ブライトスプリング、ディープオータムのスタイリング					
第14回	パーソナルシーズンカラー120		人の特徴によるアンダートーン パーソナルカラー					
第15回	検定対策		パーソナルカラー2級検定試験対策					
教科書	パーソナルカラリスト検定2級公式テキスト							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 期末テスト得点70%+小テスト5回分得点30% ※内容で一部変更する場合があります。 パーソナルカラリスト検定2級資格取得							
履修の ポイント	出席率80%以上（原則として補講は行わない）							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	ビューティコーディネートⅠ		担当者		学科	美容科	開講期	30年 前期
区分	ビジネス基礎力	講義・実習	単位	1単位	学年	1年	曜日 時限	水 2
			(時間)	30				
授業の概要	ビューティーコーディネーターとして、社会人として必要な資質を磨く							
学習目的	サービス業に従事する者としての心構えを学び、自分に適した就職先への選択はできるようにする。 ビューティコーディネーター3級を目指す。							
学習目標	ビューティコーディネーターの知識、スキル、ビューティコーディネーターの仕事を学ぶ中で、サービス業に従事する者としての心構えを学ぶ。合わせて、希望する企業の内定を獲得する為に、きちんと履歴書を書く・思いの伝わるエントリーシートを書けるようにする。どのような人材が求められているのかを知り、面接でしっかり自己表現ができるようにする。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	ビューティコーディネーターⅠ ビューティコーディネーターについて理解する サロンにおけるビジネスキャリア	1. 社会人としての職業意識 2. 美容業界で働くということ 3. 仕事への取り組み方① 4. 仕事への取り組み方② 5. 顧客志向の姿勢を学ぶ ワーク 1分間スピーチ「どのような社会人になりたいか」 グループワーク「愛されるスタッフとはどのようなスタッフか」						
第2回	ビューティコーディネーターⅡ ホスピタリティの考え方 ビジネスコミュニケーション	1. ホスピタリティの考え方 2. 言語によらないコミュニケーション 3. サロンスタッフとしての身だしなみを知る 4. 1分間スピーチ「サロンでのおもてなしにはどのような事があるか」						
第3回	インターンシップに向けて	インターンシップに向けてのマナー 挨拶・実習中の諸注意・お礼状の書き方・封筒の書き方を学ぶ						
第4回	接客の基本と電話の受け方・かけ方	1. 印象の良い聴き方と話し方 2. 敬語 3. 電話の受け方かけ方4. 名刺交換						
第5回	ビューティコーディネーターⅢ サロン内のコミュニケーション	1. スタッフ間の円滑なコミュニケーション 2. 就業中の基本マナー3. 指示の受け方と報告の仕方 4. 報告書の書き方 5. 会議への参加を学ぶ 1分間スピーチ「サロン内で良好なコミュニケーションを築く為にはどのような事が必要か」 グループワーク「チームで報告書作成」						
第6回	ビューティコーディネーターⅣ ビューティコーディネーターとは	1. ビューティコーディネーターの役割と能力・キャリアプラン 2. 生産性を高めるフロアマネジメント グループワーク「生産性を上げる為の試み」を考える						
第7回	ビューティコーディネーターⅤ 美意識・ファッションコーディネート	1. おしゃれ・トレンドを理解しアドバイスする為に 2. ファッションの歴史						
第8回	サロンのメディア活用	1. 電子メール2. 表とグラフ3. ホームページ4. ビジネス用語						
第9回	応募書類の書き方	履歴書の書き方・添え状の書き方・封筒の書き方 志望動機・自己PRの書き方 面接でよく出る質問を学ぶ						
第10回	自己PR発表会	前の週で作成した自己PRの内容と話し方のチェック						
第11回	お客様に敬意を示せる立ち振る舞い	ウォーキング、物の受け渡し、ジャケットの脱ぎ着等の所作						
第12回	自己プロデュースコラージュ作成	自分を表現するファッション・ヘアメイク表現を考える						
第13回	自分の魅力全身コーディネート発表会①	夏休み前に作成した自己プロデュースプランの発表会						
第14回	自分の魅力全身コーディネート発表会②	夏休み前に作成した自己プロデュースプランの発表会						
第15回	前期試験							
教科書	ビューティコーディネート検定テキスト3級							
参考書								
成績評価	単位認定 60 点以上 ビューティコーディネート3級取得を目指す							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	ビューティコーディネートⅡ		担当者		学科	美容科	開講期	30年後期
区分	ビジネス基礎力	講義・実習	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	木 1
授業の概要	専門的な技術・理論を学び就職に役立てる							
学習目的	サービス業に従事する者としての心構え、知識、接遇待遇の習得。 ビューティコーディネーター2級取得を目指す							
学習目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現力を始めとするコミュニケーション能力 ・立ち居振る舞いやマナーといった人間力 ・出会った一瞬で、その人に似合うのかを見極める完成を養うスタイリング能力 							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	オリエンテーション・3級復習と2級説明	授業の進め方・試験説明・3級復習・2級挑戦の目的など						
第2回	サロンオペレーションとチームワーク	p1～23 信頼されるスタッフとは、チームワークとは						
第3回	サロンオペレーションの向上	p24～37 CSとES、サロンワークの全体像						
第4回	社内トレーナーに必要な心構えとスキル	p38～50 ティーチングとコーチングの基本						
第5回	ファッションのスタイル別評価	p76～81 最近のファッションスタイル・ブランド						
第6回	カウンセリングの基本	p51～61 相手を思う技術・安心感を与える会話						
第7回	カウンセリングの技術	p62～75 カウンセリングの手順と注意事項						
第8回	店販へアケアコミュニケーション	p82～87 施述の中での商品説明、説明の組み立て						
第9回	クレーム対応	p100～108 クレーム対応の基本						
第10回	トータルビューティメニューの知識	p109～113、124～127 メイク、健康情報						
第11回	カラーコーディネーションの基本 等	p148～151 パーソナルカラー						
第12回	接客対応ロールプレイング①	チームに分かれて学んだ接客についてテーマを決め発表会						
第13回	接客対応ロールプレイング②	チームに分かれて学んだ接客についてテーマを決め発表会						
第14回	検定問題集	過去問に挑戦・回答解説						
第15回	2級模擬試験・検定注意事項	模擬試験・検定注意事項説明						
教科書	ビューティコーディネータ検定テキスト2級・検定過去問題集							
参考書								
成績評価	単位認定：試験60点以上							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	インターンシップ I		担当者		学科	美容科	開講期	30年
区分	ビジネス基礎力	選択課目	単位	1 単位	学年	1年	曜日	火～金
			(時間)	30			時限	1～4
授業の概要	実際のサロン勤務を体験（研修）し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付けるとともに就職に繋げる。							
学習目的	(1) 就職を考えさせ早期就職内定へ繋げる (2) 美容業界での自分の適性や仕事の内容について自己分析させる。 (3) 美容業界への関心・就職への意欲を高め、日々の学校生活に対する意欲を高める。							
学習目標	1. サロン様の実践的経験 2. 職業意識の育成 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。実践的な経験により、自主的に行動ができる人材を育成する。							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	インターンシップガイダンス	インターンシップの意義と目的について概要説明。ビジネスマナーについての確認						
第2回	サロン研究	サロン様の経営方針・教育方針を調べ、自分に合ったサロン様を研究する						
第3回	サロン訪問	インターンシップ先を確定する為、サロン見学に行く						
第4回 第5回	インターンシップ事前準備	インターンシップ先を決定する。インターンシップ先誓約書記入・事前連絡・インターンシップ受け入れについてのお願い・依頼発送					6月上旬（1年）	
第6回 第7回	インターンシップ実習期間①	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）					8月上旬（1年）	
第8回 第9回	インターンシップ実習期間①	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第10回 第11回	インターンシップ実習期間①	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第12回 第13回	インターンシップ実習期間①	受入れ事業所で就業体験（実習日誌）						
第14回 第15回	インターンシップレポート提出	インターン先の情報共有・実務記録の完成・提出 お礼状の発送						
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 実務記録提出							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	インターンシップⅡ		担当者		学科	美容科	開講期	31年
区分	ビジネス基礎力		単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日	火～金
	選択課目	単位					時限	1～4
授業の概要	実際のサロン勤務を体験（研修）し、これを通して、専門知識を実社会においてどのように活かしていくべきか、今後の自分にとって何が必要かを考える能力を身に付けるとともに就職に繋げる。							
学習目的	(1) 就職を考えさせ早期就職内定へ繋げる (2) 美容業界での自分の適性や仕事の内容について自己分析させる。 (3) 美容業界への関心・就職への意欲を高め、日々の学校生活に対する意欲を高める。							
学習目標	1. サロン様の実践的経験 2. 職業意識の育成 3. いろいろな人の持つ考え方や行動に触れることにより、学生としてではなく、社会人としてのマナーや責任感を身につけることができる。実践的な経験により、自主的に行動ができる人材を育成する。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容				備 考	
第1回	インターンシップガイダンス		インターンシップの意義と目的について概要説明。ビジネスマナーについての確認					
第2回	サロン研究		サロン様の経営方針・教育方針を調べ、自分に合ったサロン様を研究する					
第3回	サロン訪問		インターンシップ先を確定する為、サロン見学に行く					
第4回 第5回	インターンシップ事前準備		インターンシップ先を決定する。インターンシップ先誓約書記入・事前連絡・インターンシップ受け入れについてのお願ひ・依頼発送				1月中旬（2年）予定	
第6回 第7回	インターンシップ実習期間①		受入れ事業所で就業体験（実習日誌）				2月下旬（2年）予定	
第8回 第9回	インターンシップ実習期間①		受入れ事業所で就業体験（実習日誌）					
第10回 第11回	インターンシップ実習期間①		受入れ事業所で就業体験（実習日誌）					
第12回 第13回	インターンシップ実習期間①		受入れ事業所で就業体験（実習日誌）					
第14回 第15回	インターンシップレポート提出		インターン先の情報共有・実務記録の完成・提出 お礼状の発送					
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 実務記録提出							
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー	随時							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（コンテストⅠ）	担当者		学科	美容科	開講期	30年前期
区分	ビジネス基礎力 選択課目	単位 (時間)	1単位 30	学年	1年	曜日 時限	月 1
授業の概要	6月・7月・8月・9月にあるコンテスト出場種目の集中練習						
学習目的	コンテスト入賞者を増やす						
学習目標	出場種目で好成績を残す						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第2回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第3回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第4回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第5回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第6回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第7回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第8回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第9回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第10回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第11回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第12回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第13回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第14回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第15回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第16回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第17回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第18回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第19回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第20回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第21回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第22回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第23回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第24回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第25回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第26回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第27回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第28回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第29回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
第30回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成				日程未定	
教科書							
参考書							
成績評価	単位認定 コンテスト出場						
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（コンテストⅡ）		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	ビジネス基礎力 選択課題	実習	単位 (時間)	1単位 30	学年	2年	曜日 時限	月 1
授業の概要	6月・7月・8月・9月にあるコンテスト出場種目の集中練習							
学習目的	コンテスト入賞者を増やす							
学習目標	出場種目で好成績を残す							
授 業 計 画								
回	主 題	授 業 内 容					備 考	
第1回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第2回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第3回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第4回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第5回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第6回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第7回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第8回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第9回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第10回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第11回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第12回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第13回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第14回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第15回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第16回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第17回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第18回	S P Cコンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第19回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第20回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第21回	美容週間コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第22回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第23回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第24回	美容組合コンテストに向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第25回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第26回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第27回	就活eggフォトコン・JKコンテスト	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第28回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第29回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
第30回	理美容甲子園に向けて	出場種目の技術練習・作品作成					日程未定	
教科書								
参考書								
成績評価	単位認定 コンテスト出場							
履修の ポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス ・アワー								

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習(サロンワークⅠ)		担当者	学科	美容科	開講期	30年前期後期
区分	ビジネス基礎力 選択課題	単位 (時間)	2単位 60	学年	1年	曜日 時限	月 2・3
授業の概要	サロン実務演習						
学習目的	サロンフロアでの立ち居振る舞いを知り、卒業後の即戦力としての能力を身に付ける						
学習目標	お客様・先輩スタッフから見て抜群に好印象を持って頂ける人材になる。サロンフロア業務の全てを把握し、広い視野を持って実践できる。						
授 業 計 画							
回	主 題	授 業 内 容				備 考	
第1回	環境整備・掃除の仕方について	掃除の仕方を知る。自分の美的レベルを知る。綺麗な環境とは？				アシスタント業務全般Ⅰ	
第2回	器具・用具について・挨拶の仕方	器具・用具の名称理解・タオル、クロスの畳み方・好感の持てる挨拶ができる				アシスタント業務全般Ⅰ	
第3回	道具準備・椅子の座り方・服装	カット・カラー・パーマ・セット準備の方法を習得・椅子の座り方を知る				アシスタント業務全般Ⅰ	
第4回	指示の受け方・返事の仕方	聞いたことを忘れない為にメモを取る・うなずき・返事がハキハキできる				アシスタント業務全般Ⅰ	
第5回	表情の作り方・立ち姿勢・歩き方	見た目でお客様に不快を与えない為の振る舞いを学ぶ				アシスタント業務全般Ⅰ	
第6回	言葉かけ・話し方・声の調子	お客様への伝わり方を知る・丁寧に感じるトーンを知る				アシスタント業務全般Ⅰ	
第7回	受付業務・案内・椅子の引き方	お出迎え～座席案内まで一連の流れをロールプレイング				アシスタント業務全般Ⅰ	
第8回	クロス掛け・床掃き・お茶出し	お客様との距離感を知りアプローチの方法を知る				アシスタント業務全般Ⅰ	
第9回	ヘルプの仕方を知る	カット・カラー・パーマ・セットのヘルプの仕方を身に付ける				アシスタント業務全般Ⅰ	
第10回	ヘルプができる	カット・カラー・パーマ・セットのヘルプの仕方を身に付ける				アシスタント業務全般Ⅰ	
第11回	先輩・お客様への話し掛け方	距離感とアプローチのタイミングを知る・報告、連絡、相談				アシスタント業務全般Ⅰ	
第12回	電話対応を知る	電話の掛け方、受け方、予約の取り方・お客様との電話のやり取りを学ぶ				アシスタント業務全般Ⅰ	
第13回	自己紹介ができる	自分を知り簡潔に自己紹介ができる				アシスタント業務全般Ⅰ	
第14回	自己PRができる	自分の魅力を知り効果的なアピールの仕方を学ぶ				アシスタント業務全般Ⅰ	
第15回	アシスタント業務全般Ⅰまとめテスト	アシスタント1年目としての立ち居振る舞いができる				アシスタント業務全般Ⅰ	
第16回	自分を覚えて頂く為のアプローチ	印象に残る自己紹介ができる・話しかけやすい雰囲気を作る				アシスタント業務全般Ⅰ	
第17回	カルテからお悩みを読み解く	お客様が何を悩んでいるのか・解消してほしい事は・期待されている事は				アシスタント業務全般Ⅰ	
第18回	プレカウンセリングを知る	お客様がお待ちの間に簡単にプレカウンセリングができる				アシスタント業務全般Ⅰ	
第19回	プレカウンセリングを行う	お客様がお待ちの間に簡単にプレカウンセリングができる・先輩に報告ができる				アシスタント業務全般Ⅰ	
第20回	お客様と会話をする(若年層)	会話の内容・興味関心・話し方・悩みヒヤリング・アドバイス				アシスタント業務全般Ⅰ	
第21回	お客様と会話をする(キャリア層)	会話の内容・興味関心・話し方・悩みヒヤリング・アドバイス				アシスタント業務全般Ⅰ	
第22回	お客様と会話をする(中年層)	会話の内容・興味関心・話し方・悩みヒヤリング・アドバイス				アシスタント業務全般Ⅰ	
第23回	お客様と会話をする(高年層)	会話の内容・興味関心・話し方・悩みヒヤリング・アドバイス				アシスタント業務全般Ⅰ	
第24回	マッサージ(ヘッド)(ハンド)	お客様へのサービス精神を学ぶ・力加減・お伺い方法を知る				アシスタント業務全般Ⅰ	
第25回	マッサージ(肩・首)	お客様へのサービス精神を学ぶ・力加減・お伺い方法を知る				アシスタント業務全般Ⅰ	
第26回	販促Ⅰ(若年層)	商品の特徴を知り、お客様に合わせて興味関心のある商品を販売する				アシスタント業務全般Ⅰ	
第27回	販促Ⅱ(キャリア層)	商品の特徴を知り、お客様に合わせて興味関心のある商品を販売する				アシスタント業務全般Ⅰ	
第28回	販促Ⅲ(中年層)	商品の特徴を知り、お客様に合わせて興味関心のある商品を販売する				アシスタント業務全般Ⅰ	
第29回	販促Ⅳ(高年層)	商品の特徴を知り、お客様に合わせて興味関心のある商品を販売する				アシスタント業務全般Ⅰ	
第30回	アシスタント業務全般Ⅱまとめテスト	アシスタント1年目としての立ち居振る舞いができる				アシスタント業務全般Ⅰ	
教科書	美容実習Ⅰ 美容技術理論Ⅰ 日本理容美容教育センター						
参考書							
成績評価	単位認定 毎授業3点満点で評価		欠席はー3点		最終日は10点満点で評価する		
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない						
オフィス・アワー							

平成30年度 シラバス

科目名	美容実習（サロンワークⅡ）		担当者		学科	美容科	開講期	31年前期
区分	ビジネス基礎力 選択課題	実習	単位 (時間)	2単位 60	学年	2年	曜日 時限	月/木
授業の概要	サロン実務演習							
学習目的	サロンフロアでの立ち居振る舞いを知り、卒業後の即戦力としての能力を身に付ける							
学習目標	お客様・先輩スタッフから見て抜群に好印象を持って頂ける人材になる。サロンフロア業務の全てを把握し、広い視野を持って実践できる。							
授 業 計 画								
回	主 題		授 業 内 容			備 考		
第1回	アフターカウンセリング		仕上がり確認・満足度を表情、ヒヤリングから読み解く・次回提案、約束			アシスタント業務全般Ⅲ		
第2回	口べた解消法「仮説を立てる」		お客様の行動・視線・表情から「何を望んでいるのか？」心理を読み取る			アシスタント業務全般Ⅲ		
第3回	口べた解消法「準備をする」		仮説を立てたら準備をして効果的な提案をする			アシスタント業務全般Ⅲ		
第4回	口べた解消法「実践する」		提案を実践する・お客様から納得を得て実践し信頼に繋げる			アシスタント業務全般Ⅲ		
第5回	カウンセリング（分析する）		「見る」を徹底的に言語化する・「感じる」を定義づける ・「形状」で認識する			アシスタント業務全般Ⅲ		
第6回	カウンセリング（ヒヤリングする）		悩みと理想を読み取る・引き出す			アシスタント業務全般Ⅲ		
第7回	カウンセリング（提案する）		経験と知識から提案する武器を選び「マッチング」させる			アシスタント業務全般Ⅲ		
第8回	カウンセリング（実践する）		松竹梅の提案でお客様心理をくすぐる・客単価アップの提案			アシスタント業務全般Ⅲ		
第9回	スタッフとしての立ち居振る舞い（単独）		お出迎え～受付～座席案内			アシスタント業務全般Ⅲ		
第10回	スタッフとしての立ち居振る舞い（単独）		カルテを記入いただきプレカウンセリング～ヒヤリング～提案			アシスタント業務全般Ⅲ		
第11回	スタッフとしての立ち居振る舞い（単独）		担当への報告、連絡、相談～セット面への誘導～言葉掛け～クロス掛け			アシスタント業務全般Ⅲ		
第12回	スタッフとしての立ち居振る舞い（単独）		技術準備～技術ヘルプ～年齢層に合わせたお客様と会話			アシスタント業務全般Ⅲ		
第13回	スタッフとしての立ち居振る舞い（単独）		印象の良い自己紹介～キャンペーン告知			アシスタント業務全般Ⅲ		
第14回	スタッフとしての立ち居振る舞い（単独）		アフターカウンセリング～次回予約～会計～お見送り			アシスタント業務全般Ⅲ		
第15回	アシスタント業務全般Ⅲまとめテスト		アシスタント2年目としての立ち居振る舞いができる			アシスタント業務全般Ⅲ		
第16回	会議への参加		会議でのマナー・議長、書記の役割			アシスタント業務全般Ⅲ		
第17回	会議への参加		報告書の書き方・目標に対しての反省・来月の目標設定			アシスタント業務全般Ⅲ		
第18回	伝わるDM・POPとは		DMの書き方・効果的なPOPの作り方			アシスタント業務全般Ⅲ		
第19回	トラブルシューティング		お客様からのクレームが起りやすい場面・クレームが起らない為には			アシスタント業務全般Ⅲ		
第20回	トラブルシューティング		クレームが起ったら、自分はどうに対処すべきか			アシスタント業務全般Ⅲ		
第21回	コンテスト・セミナーの位置付け		自己研鑽により成長スピードを速める ・サロンの規模によって教育の違いとは			アシスタント業務全般Ⅲ		
第22回	先輩・後輩・お客様との関係（給料面）		チームとしての役割を理解し自分は常に何が出来るかを考える			アシスタント業務全般Ⅲ		
第23回	先輩・後輩・お客様との関係（成長面）		チームとしての役割を理解し自分は常に何が出来るかを考える			アシスタント業務全般Ⅲ		
第24回	目標意識をもつ		目標設定1日、1週間、1か月・目標達成をするには、 どれだけの準備が必要か			アシスタント業務全般Ⅲ		
第25回	営業準備		掃除～身支度～朝礼～予約のお客様の受け入れ準備			アシスタント業務全般Ⅲ		
第26回	営業終わり		終礼～お客様情報の共有～次回来店までのアプローチ			アシスタント業務全般Ⅲ		
第27回	スタッフとしての立ち居振る舞い（共働）		営業の中で広い視野を持って立ち居振る舞いができる			アシスタント業務全般Ⅲ		
第28回	スタッフとしての立ち居振る舞い（共働）		営業の中で広い視野を持って立ち居振る舞いができる			アシスタント業務全般Ⅲ		
第29回	スタッフとしての立ち居振る舞い（共働）		営業の中で広い視野を持って立ち居振る舞いができる			アシスタント業務全般Ⅲ		
第30回	アシスタント業務全般Ⅳまとめテスト		アシスタント2年目としての立ち居振る舞いができる			アシスタント業務全般Ⅲ		
教科書	美容実習Ⅰ 美容技術理論Ⅰ 日本理容美容教育センター							
参考書								
成績評価	単位割 毎授業3点満点で評価		欠席はー3点		最終日は10点満点で評価する			
履修のポイント	出席80%以上が前提となる 出席時間不足のための補習は行なわない							
オフィス・アワー								

2018 美容科 シラバス

発行 YIC京都ビューティ専門学校

発行日 平成30年 4月 1日

編集 学校法人京都中央学院

〒600-8236 京都市下京区油小路通塩小路下る西油小路町 27 番地

TEL 075-371-4040 FAX 075-343-3821

本便覧の複写および無断転載を禁ずる。